

Ⅱ. 調査結果

世帯数・ひとり親家庭の状況等について

1. 親の年齢

母の平均年齢は、40.7歳であり、年齢階級別で見ると前回調査と同様に「40～49歳」が最も多くなっており、前回調査と比較するとその割合は6.0ポイント増加している。

父の平均年齢は、45.9歳であり、年齢階級別で見ると前回調査と同様に「40～49歳」が最も多くなっているが、前回調査より0.9ポイント減少している。

また、生別世帯・死別世帯別で見ると、生別では母子家庭・父子家庭ともに、「40～49歳」、死別では母子家庭が「40～49歳」、父子家庭が「50～59歳」が最も多くなっている。

表1-1 ひとり親家庭の親の年齢階級別の状況（年度別）

【母子家庭】

年齢	山形県			全国		
	R01	H26	H21	H28	H23	H18
20歳未満	0.1	0.1	0.1	0.1	0.4	0.1
20～29歳	6.4	9.5	9.8	7.8	10.4	10.5
30～39歳	33.9	38.2	44.0	30.2	35.4	38.8
40～49歳	48.3	42.3	39.8	48.0	41.7	40.9
50～59歳	8.4	8.8	5.6	11.5	8.2	8.6
60歳以上	0.1	0.0	0.1	0.6	0.7	0.3
未回答・無効回答	2.7	1.1	0.6	1.8	3.2	0.8
総数	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
平均年齢	40.7歳	39.0歳	38.4歳	41.1歳	39.7歳	39.4歳

【父子家庭】

年齢	山形県			全国		
	R01	H26	H21	H28	H23	H18
20歳未満	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
20～29歳	1.2	2.9	4.4	3.2	2.7	6.0
30～39歳	21.9	22.7	37.4	19.8	23.2	24.1
40～49歳	42.0	42.9	40.2	44.0	44.2	44.2
50～59歳	25.4	25.6	17.4	25.2	21.2	22.6
60歳以上	5.9	4.2	0.6	6.4	4.5	1.5
未回答・無効回答	3.6	1.7	0.0	1.5	4.3	1.5
総数	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
平均年齢	45.9歳	44.4歳	41.7歳	45.7歳	44.7歳	43.1歳

表1-2 ひとり親家庭の親の年齢階級別状況（理由別）

【母子家庭】

年齢	山形県						全国					
	R01			H26			H28			H23		
	死別	生別	総数									
20歳未満	0.0	0.1	0.1	2.9	0.0	0.1	0.0	0.1	0.1	0.0	0.5	0.4
20～29歳	0.0	6.6	6.4	0.0	9.9	9.5	0.0	8.5	7.8	0.8	11.2	10.4
30～39歳	13.0	34.5	33.9	17.6	38.9	38.2	16.4	31.5	30.2	11.4	37.3	35.4
40～49歳	47.8	48.2	48.3	50.0	42.3	42.3	54.5	47.3	48.0	55.3	40.7	41.7
50～59歳	30.4	7.9	8.4	26.5	7.9	8.8	25.5	10.3	11.5	25.2	6.8	8.2
60歳以上	4.3	0.0	0.1	0.0	0.0	0.0	2.4	0.4	0.6	4.9	0.3	0.7
未回答・無効回答	4.3	2.7	2.7	2.9	1.0	1.1	1.2	1.9	1.8	2.4	3.2	3.2
総数	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
平均年齢（歳）	47.6	40.5	40.7	43.9	38.8	39.0	46.3	40.6	41.1	47.5	39.0	39.7

【父子家庭】

年齢	山形県						全国					
	R01			H26			H28			H23		
	死別	生別	総数									
20歳未満	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
20～29歳	0.0	1.3	1.2	0.0	3.4	2.9	0.0	4.0	3.2	0.0	3.2	2.7
30～39歳	7.1	23.2	21.9	12.9	24.2	22.7	6.5	23.1	19.8	9.6	25.9	23.2
40～49歳	28.6	43.2	42.0	29.0	44.9	42.9	44.2	43.8	44.0	43.6	44.3	44.2
50～59歳	50.0	23.2	25.4	45.2	22.7	25.6	40.3	21.9	25.2	34.0	18.6	21.2
60歳以上	7.1	5.8	5.9	9.7	3.4	4.2	9.1	5.6	6.4	10.6	3.2	4.5
未回答・無効回答	7.1	3.2	3.6	3.2	1.4	1.7	0.0	1.5	1.5	2.1	4.7	4.3
総数	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
平均年齢（歳）	51.1	45.5	45.9	48.0	43.9	44.4	49.0	44.8	45.7	49.0	43.8	44.7

2. ひとり親家庭になった理由

(1) 母子家庭になった理由

「離婚」が88.7%となっており、前回調査と同様に「離婚」が最も多く、割合はやや増えているものの、例年とほぼ同じ結果となっている。「死別」の割合は減少傾向にあり、一方で「未婚の母」は増加傾向にある。

表2- (1) 母子家庭になった理由

【母子家庭】

	調査年	死別	生別						未回答・ 無効回答
			総数	離婚	未婚の母	遺棄	行方不明	その他	
山形県	R01	2.6	97.1	88.7	8.3	0.0	0.1	0.0	0.2
	H26	3.6	95.9	88.5	7.0	0.1	0.3	0.0	0.5
	H21	3.8	96.0	90.2	5.1	0.2	0.5	0.0	0.2
全 国	H28	8.0	91.1	79.5	8.7	0.5	0.4	2.0	0.9
	H23	7.5	92.5	80.8	7.8	0.4	0.4	3.1	0.0
	H18	9.7	89.6	79.7	6.7	0.1	0.7	2.3	0.7

(2) 父子家庭になった理由

「離婚」が91.1%と最も多く、割合は増加傾向にある。一方で「死別」の割合は減少傾向にある。

表2- (2) 父子家庭になった理由

【父子家庭】

	調査年	死別	生別						未回答・ 無効回答
			総数	離婚	未婚の父	遺棄	行方不明	その他	
山形県	R01	8.3	91.7	91.1	/	0.0	0.0	0.6	0.0
	H26	13.0	86.9	86.1		0.4	0.4	0.0	0.0
	H21	15.0	84.7	83.5		0.3	0.6	0.3	0.3
全 国	H28	19.0	80.0	75.6	0.5	0.5	0.5	3.0	1.0
	H23	16.8	83.2	74.3	1.2	0.5	0.5	6.6	0.0
	H18	22.1	77.4	74.4	/	0.0	0.5	2.5	0.5

3. 世帯の状況

(1) ひとり親家庭の世帯構成

母子家庭では、「母子のみ」が53.3%、「同居者あり」が46.5%となっており、「母子のみ」の方が多という傾向は前回調査と同じだが、ポイントの差は広がっている。

父子家庭では、「父子のみ」が35.5%、「同居者あり」が63.9%となっており、母子家庭と比較すると「同居者あり」の割合が17.4ポイント高くなっている。

表3- (1) 世帯の構成

【母子家庭】

世帯構成	山形県 (R01)			全国 (H28)		
	死別	生別	総数	死別	生別	総数
母子のみ	47.8	53.5	53.3	58.2	61.5	61.3
同居者あり	52.2	46.3	46.5	41.8	38.5	38.7
未回答・無効回答	0.0	0.2	0.2	0.0	0.0	0.0
総数	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
	山形県 (H26)			全国 (H23)		
母子のみ	50.0	50.3	50.2	57.7	61.4	61.2
同居者あり	50.0	48.9	49.1	42.3	38.6	38.8
未回答・無効回答	0.0	0.8	0.7	0.0	0.0	0.0
総数	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0

【父子家庭】

世帯構成	山形県 (R01)			全国 (H28)		
	死別	生別	総数	死別	生別	総数
父子のみ	50.0	34.2	35.5	53.2	42.0	44.4
同居者あり	50.0	65.2	63.9	46.8	58.0	55.6
未回答・無効回答	0.0	0.6	0.6	0.0	0.0	0.0
総数	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
	山形県 (H26)			全国 (H23)		
父子のみ	38.7	32.9	33.6	35.1	40.3	39.4
同居者あり	61.3	64.7	64.3	64.9	59.7	60.6
未回答・無効回答	0.0	2.4	2.1	0.0	0.0	0.0
総数	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0

(2) ひとり親家庭の世帯人員

母子家庭の平均世帯人員は3.6人、父子家庭は3.9人となっており、いずれも前回調査時と同じ数値となっている。

表3-(2)-1 ひとり親家庭の世帯人員(年度別)

【母子家庭】

世帯人員	山形県			全国		
	R01	H26	H21	H28	H23	H18
2人	25.9	25.2	23.2	31.9	29.9	34.5
3人	25.1	27.0	28.6	33.0	33.3	31.6
4人	21.6	21.0	21.8	18.3	18.8	17.1
5人	14.4	13.0	15.4	9.3	9.3	9.2
6人	5.4	8.9	6.9	3.6	5.2	3.9
7人以上	2.9	4.0	3.6	2.7	3.6	3.6
未回答・無効回答	4.8	0.8	0.5	1.1	0.0	0.0
総数	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
平均世帯人員 (人)	3.6	3.6	3.7	3.3	3.4	3.3

【父子家庭】

世帯人員	山形県			全国		
	R01	H26	H21	H28	H23	H18
2人	20.7	17.2	9.3	24.7	20.5	18.1
3人	20.1	21.0	17.4	25.9	28.5	28.6
4人	24.9	26.5	28.3	23.5	22.5	21.6
5人	19.5	23.1	27.4	13.1	16.6	14.6
6人	10.7	8.0	11.5	8.9	8.0	8.0
7人以上	1.8	3.4	5.6	2.7	3.9	9.0
未回答・無効回答	2.4	0.8	0.5	1.2	—	—
総数	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
平均世帯人員 (人)	3.9	3.9	4.3	3.7	3.8	4.0

表3- (2) - 2 ひとり親家庭の世帯人員 (理由別)

【母子家庭】

人数	山形県						全国					
	R01			H26			H28			H23		
	死別	生別	総数									
2人	17.4	26.2	25.9	14.7	25.7	25.2	26.1	32.3	31.9	26.8	30.1	29.9
3人	30.4	24.9	25.1	26.5	27.2	27.0	35.2	33.0	33.3	33.3	33.2	33.3
4人	17.4	21.7	21.6	26.5	20.8	21.0	24.8	17.8	18.3	26.0	18.2	18.8
5人	17.4	14.3	14.4	20.6	12.8	13.0	6.7	9.5	9.3	8.9	9.3	9.3
6人	13.0	5.2	5.4	2.9	8.9	8.9	1.8	3.7	3.6	3.3	5.3	5.2
7人以上	4.3	2.7	2.9	8.8	3.7	4.0	3.0	2.6	2.7	1.6	3.8	3.6
未回答・無効回答	0.0	4.9	4.8	0.0	0.9	0.8	2.4	1.0	1.1	0.0	0.0	0.0
総数	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
平均世帯人員 (人)	3.9	3.5	3.6	4.0	3.6	3.6	3.3	3.3	3.3	3.3	3.4	3.4

【父子家庭】

人数	山形県						全国					
	R01			H26			H28			H23		
	死別	生別	総数									
2人	35.7	19.4	20.7	12.9	17.8	17.2	28.6	24.1	24.7	16.0	21.4	20.5
3人	21.4	20.0	20.1	19.4	21.3	21.0	31.2	24.7	25.9	28.7	28.5	28.5
4人	28.6	24.5	24.9	35.5	25.1	26.5	24.7	23.5	23.5	26.6	21.6	22.5
5人	14.3	20.0	19.5	22.6	23.2	23.1	3.9	15.1	13.1	16.0	16.7	16.6
6人	0.0	11.6	10.7	6.5	8.2	8.0	7.8	9.3	8.9	9.6	7.7	8.0
7人以上	0.0	1.9	1.8	3.2	3.4	3.4	2.6	2.8	2.7	3.2	4.1	3.9
未回答・無効回答	0.0	2.6	2.4	0.0	1.0	0.8	1.3	0.6	1.2	0.0	0.0	0.0
総数	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
平均世帯人員 (人)	3.2	3.9	3.9	4.0	3.9	3.9	3.4	3.7	3.7	3.9	3.8	3.8

4. 子どもの状況

(1) 子どもの数

母子家庭・父子家庭とも、子どもの数は「1人」が最も多い。

また、「3人」の割合が、母子家庭・父子家庭とも前回調査と比較して高くなっており、その結果平均子どもの数は増加している。

表4- (1) ひとり親家庭の子どもの数別世帯の状況

【母子家庭】

子どもの数	山形県		全国	
	R01	H26	H28	H23
1人	61.0	59.6	57.9	54.7
2人	31.7	33.6	32.6	34.5
3人	6.4	6.1	6.8	8.9
4人以上	0.9	0.7	1.6	1.9
総数	100.0	100.0	100.0	100.0
平均子どもの数(人)	1.47	1.46	1.52	1.58

【父子家庭】

子どもの数	山形県		全国	
	R01	H26	H28	H23
1人	58.6	54.5	59.8	54.7
2人	30.8	39.4	30.4	36.0
3人	10.1	4.3	7.4	8.2
4人以上	0.6	1.7	1.2	1.1
総数	100.0	100.0	100.0	100.0
平均子どもの数(人)	1.53	1.49	1.50	1.56

(2) 子どもの年齢

年齢階級別で見ると前回調査時と同じく母子家庭・父子家庭とも「15～17歳」が最も多い。

平均年齢は、父子家庭が母子家庭より1.3歳高く、この差は前回調査と同じ結果となっている。

表4- (2) ひとり親家庭の親が養育している子ども(20歳未満)の年齢階級別の状況

【母子家庭】

年齢	山形県	
	R01	H26
0～2歳	3.3	5.2
3～5歳	8.4	10.1
6～8歳	12.7	13.2
9～11歳	16.2	17.5
12～14歳	23.1	21.4
15～17歳	25.1	22.3
18・19歳	10.7	9.5
未回答・無効回答	0.5	0.7
総数	100.0	100.0
平均年齢(歳)	12.0	11.4

【父子家庭】

年齢	山形県	
	R01	H26
0～2歳	0.8	0.8
3～5歳	4.7	5.8
6～8歳	8.9	10.5
9～11歳	17.4	18.8
12～14歳	20.2	24.9
15～17歳	30.6	25.5
18・19歳	15.9	11.6
未回答・無効回答	1.6	1.9
総数	100.0	100.0
平均年齢(歳)	13.3	12.7

(3) 子どもの就学・就労状況

母子家庭は「小学校」、父子家庭は「高校」が最も多く、ともに全国と同じ状況となっている。

また、前回調査と比較すると、母子家庭・父子家庭ともに「小学校入学前」「小学校」が減少し、「高校」「高等専門学校」が増加している。

表4－(3) 養育している子ども（20歳未満）の就学・就労状況別の状況
【母子家庭】

状況	山形県			全国		
	R01	H26	H21	H28	H23	H18
小学校入学前	13.8	16.8	16.8	14.5	16.2	17.1
小学校	31.5	32.0	37.6	30.2	31.3	35.2
中学校	22.9	22.3	21.4	20.1	20.5	19.4
高校	23.9	21.9	17.8	22.9	20.4	18.9
高等専門学校	1.6	1.0	0.4	0.9	0.5	0.4
短大	0.5	0.4	0.7	0.4	0.4	0.3
大学	1.2	1.6	1.1	3.3	1.7	1.6
専修学校・各種学校	1.2	0.8	1.5	1.7	1.8	1.5
就労	1.7	1.5	1.7	2.6	2.8	3.1
その他	1.4	0.8	1.0	1.9	2.6	2.0
未回答・無効回答	0.2	0.9	0.0	1.5	1.7	0.4
総数	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0

【父子家庭】

状況	山形県			全国		
	R01	H26	H21	H28	H23	H18
小学校入学前	5.8	7.2	11.6	8.2	8.1	12.1
小学校	28.7	33.0	48.2	26.8	27.9	31.0
中学校	24.0	27.7	25.4	20.4	24.5	24.1
高校	31.0	24.7	13.1	27.3	25.1	21.4
高等専門学校	3.1	0.6	0.2	1.0	0.1	0.3
短大	0.4	0.3	0.0	0.7	0.3	0.0
大学	0.8	1.7	0.2	3.3	2.2	2.2
専修学校・各種学校	1.2	1.4	0.4	2.0	0.9	1.5
就労	2.7	2.5	0.9	4.5	5.2	4.3
その他	1.9	1.1	0.0	4.2	3.6	2.8
未回答・無効回答	0.4	0.0	0.0	1.7	2.1	0.3
総数	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0

(4) 末子の年齢

末子の平均年齢は、母子家庭で11.2歳、父子家庭で12.6歳となっており、母子家庭・父子家庭とも、死別世帯の平均年齢が生別世帯の平均年齢より高くなっている。

表4- (4) ひとり親家庭の末子の年齢階級別状況

【母子家庭】

年齢	山形県						全国					
	R01			H26			H28			H23		
	死別	生別	総数									
0～2歳	0.0	4.7	4.6	2.9	10.1	9.9	0.6	5.5	5.1	0.8	8.4	7.8
3～5歳	4.3	10.6	10.4	8.8	14.4	14.2	3.0	11.7	11.0	4.9	11.9	11.3
6～8歳	8.7	14.6	14.5	14.7	15.5	15.5	8.5	15.1	14.5	8.9	14.7	14.3
9～11歳	13.0	17.7	17.6	8.8	18.8	18.5	16.4	15.8	16.0	13.8	17.6	17.3
12～14歳	4.3	23.0	22.4	29.4	20.8	21.1	20.0	20.1	20.0	21.1	19.3	19.4
15～17歳	43.5	22.7	23.2	29.4	17.8	18.2	32.7	20.5	21.5	23.6	18.8	19.2
18・19歳	26.1	6.1	6.6	2.9	0.8	0.8	15.8	10.2	10.6	19.5	7.8	8.7
未回答・無効回答	0.0	0.6	0.6	2.9	1.7	1.7	3.0	1.2	1.3	7.3	1.6	2.0
総数	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
平均年齢(歳)	14.1	11.1	11.2	12.3	10.3	10.3	13.6	11.1	11.3	13.4	10.5	10.7

【父子家庭】

年齢	山形県						全国					
	R01			H26			H28			H23		
	死別	生別	総数									
0～2歳	0.0	1.3	1.2	0.0	3.9	3.4	0.0	2.2	1.7	4.3	2.1	2.5
3～5歳	7.1	7.1	7.1	6.5	9.7	9.2	10.4	7.7	8.1	4.3	6.2	5.9
6～8歳	7.1	9.7	9.5	9.7	14.0	13.4	3.9	11.7	10.1	6.4	11.8	10.9
9～11歳	21.4	19.4	19.5	19.4	22.2	21.8	11.7	17.0	16.0	20.2	19.1	19.3
12～14歳	14.3	21.9	21.3	35.5	25.1	26.5	22.1	19.8	20.0	26.6	23.1	23.7
15～17歳	35.7	27.1	27.8	25.8	20.8	21.4	32.5	24.7	25.9	25.5	23.6	23.9
18・19歳	7.1	13.5	13.0	3.2	1.0	1.3	18.2	16.4	16.5	8.5	11.1	10.7
未回答・無効回答	7.1	0.0	0.6	0.0	3.4	2.9	1.3	0.6	1.5	4.3	3.0	3.2
総数	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
平均年齢(歳)	12.7	12.6	12.6	13.5	11.3	11.6	13.5	12.6	12.8	12.4	12.2	12.3

他県からの転入状況について

5. 他県からの転入状況

母子家庭・父子家庭ともに「以前から山形県に居住」が最も多くなっている。母子家庭では、「ひとり親世帯となったことに伴い山形県に転入した」が14.5%、父子家庭では1.2%となっており、父子家庭より母子家庭の割合が高くなっている。

表5-1 他県からの転入状況<R01 新規調査>

【母子家庭】

状況	山形県	
	R01	H26
ひとり親世帯となったことに伴い山形県に転入した	14.5	/
以前から山形県に居住	82.2	
未回答・無効回答	3.3	
総数	100.0	

【父子家庭】

状況	山形県	
	R01	H26
ひとり親世帯となったことに伴い山形県に転入した	1.2	/
以前から山形県に居住	92.9	
未回答・無効回答	5.9	
総数	100.0	

住居について

6. 住居の所有状況

母子家庭は、前回調査と比較して「持家（自己所有）」は3.9ポイント増加している。一方で「同居（実家等）」が3.3ポイント、「借家」が0.4ポイント減少している。

父子家庭は、前回調査と比較して「持家（自己所有）」は4.6%減少している。一方で、「同居（実家等）」が3.8ポイント、「借家」が1.7ポイント増加している。

母子家庭（16.4%）よりも父子家庭（45.0%）が持ち家比率が非常に高い。また、母子家庭・父子家庭とも、生別世帯よりも死別世帯の方の持ち家比率が高くなっている。

表6-1 住居の所有状況（年度別）

【母子家庭】

状況		山形県			全国		
		R01	H26	H21	H28	H23	H18
持家(自己所有)		16.4	12.5	12.2	35.0	29.8	34.7
借家等	同居(実家等)	36.8	40.1	41.5	13.2	11.0	7.9
	県営住宅	8.0	6.2	7.3	13.1	18.1	15.0
	市町村営住宅	10.0	10.9	11.7			
	公社・公団住宅	0.1	0.7	0.9	2.3	2.5	2.7
	アパート・賃貸マンション	18.3	17.2	14.6	33.1	32.6	30.4
	借家	8.6	9.0	9.6			
	間借	0.3	0.8	1.0			
	社宅など	0.1	0.6	0.2			
その他	1.4	1.3	0.7	2.7	5.9	9.3	
未回答・無効回答		0.0	0.6	0.3	0.6	0.0	0.0
総数		100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0

【父子家庭】

状況		山形県			全国		
		R01	H26	H21	H28	H23	H18
持家(自己所有)		45.0	49.6	41.4	68.1	66.8	58.3
借家等	同居(実家等)	39.1	35.3	46.4	10.4	7.8	18.1
	県営住宅	1.2	1.7	0.6	7.4	4.8	6.5
	市町村営住宅	1.8	1.7	0.6			
	公社・公団住宅	0.0	0.0	0.6	0.2	1.2	1.5
	アパート・賃貸マンション	7.1	6.7	5.0	11.4	15.2	11.1
	借家	5.9	4.2	4.7			
	間借	0.0	0.8	0.3			
	社宅など	0.0	0.0	0.0			
その他	0.0	0.0	0.0	2.0	4.1	4.5	
未回答・無効回答		0.0	0.0	0.4	0.5	0.0	0.0
総数		100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0

表6-2 住居の所有状況（理由別）

【母子家庭】

状況		山形県						全国					
		R01			H26			H28			H23		
		死別	生別	総数									
持家(自己所有)		47.8	15.6	16.4	47.1	11.2	12.5	58.8	32.9	35.0	61.8	27.2	29.8
借家等	同居(実家等)	43.5	36.5	36.8	32.4	40.3	40.1	7.3	13.7	13.2	4.1	11.5	11.0
	県営住宅	4.3	8.1	8.0	2.9	6.4	6.2	7.9	13.5	13.1	12.2	18.6	18.1
	市町村営住宅	0.0	10.3	10.0	5.9	11.1	10.9						
	公社・公団住宅	0.0	0.1	0.1	0.0	0.8	0.7	0.6	2.5	2.3	1.6	2.6	2.5
	アパート 賃貸マンション	4.3	18.6	18.3	0.0	18.0	17.2	21.2	34.2	33.1	17.1	33.8	32.6
	借家	0.0	8.8	8.6	5.9	9.1	9.0						
	間借	0.0	0.4	0.3	0.0	0.9	0.8						
	社宅など	0.0	0.1	0.1	0.0	0.7	0.6						
その他	0.0	1.4	1.4	5.9	1.1	1.3	4.2	2.6	2.7	3.3	6.2	5.9	
未回答・無効回答		0.0	0.0	0.0	0.0	0.4	0.6	0.0	0.5	0.6			
総数		100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0

【父子家庭】

状況		山形県						全国					
		R01			H26			H28			H23		
		死別	生別	総数									
持家(自己所有)		64.3	43.2	45.0	58.1	48.3	49.6	68.8	68.2	68.1	73.4	65.5	66.8
借家等	同居(実家等)	21.4	40.6	39.1	19.4	37.7	35.3	10.4	10.5	10.4	5.3	8.4	7.8
	県営住宅	0.0	1.3	1.2	3.2	1.4	1.7	9.1	7.1	7.4	5.3	4.7	4.8
	市町村営住宅	0.0	1.9	1.8	3.2	1.4	1.7						
	公社・公団住宅	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.3	0.2	1.1	1.3	1.2
	アパート 賃貸マンション	7.1	7.1	7.1	6.5	6.8	6.7	11.7	11.4	11.4	9.6	16.3	15.2
	借家	7.1	5.8	5.9	6.5	3.9	4.2						
	間借	0.0	0.0	0.0	3.2	0.5	0.8						
	社宅など	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0						
その他	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	2.5	2.0	5.3	3.9	4.1	
未回答・無効回答		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.5			
総数		100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0

就業について

7. ひとり親家庭の親の就業状況

(1) ひとり親家庭の親の就業状況

母子家庭の母は、93.8%が就業しており、就業上の地位で最も多いのは「常用雇用者」であり、次いで「臨時・パート」となっている。

前回調査と比較すると、「常用雇用者」の割合が9.4ポイント増加し、「臨時・パート」の割合が6.4ポイント減少している。

一方、父子家庭の父は、94.7%が就業しており、就業上の地位で最も多いのは「常用雇用者」であり、次いで「事業主」、「臨時・パート」の順となっている。

表7-(1)-1 現在の就業状況

【母子家庭】

状況		山形県			全国		
		R01	H26	H21	H28	H23	H18
就業している		93.8	94.1	91.5	81.8	80.6	84.5
就業上の地位	事業主	2.8	3.7	3.7	4.3	3.2	4.0
	常用雇用者	61.6	52.2	51.2	44.2	39.4	42.5
	臨時・パート	28.2	34.6	38.8	43.8	47.4	43.6
	派遣社員	4.3	4.3	3.6	4.6	4.7	5.1
	家族従業者	0.9	2.0	1.2	0.5	1.6	1.2
	その他	2.3	3.3	1.5	2.5	3.7	3.5
就業していない		4.6	4.9	8.3	9.4	15.0	14.6
未回答・無効回答		1.6	1.1	0.2	8.8	4.4	0.9
総数		100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0

【父子家庭】

状況		山形県			全国		
		R01	H26	H21	H28	H23	H18
就業している		94.7	91.6	93.1	85.4	91.3	97.5
就業上の地位	事業主	13.8	9.2	9.4	19.9	17.2	16.5
	常用雇用者	71.3	72.9	73.9	68.2	67.2	72.2
	臨時・パート	5.6	6.9	8.4	6.4	8.0	3.6
	派遣社員	4.4	5.0	2.0	1.4	2.0	2.6
	家族従業者	3.8	3.2	3.7	2.6	1.4	3.1
	その他	1.3	2.7	2.6	1.4	4.3	2.1
就業していない		2.4	6.7	6.9	5.4	5.3	2.5
未回答・無効回答		3.0	1.7	0.0	9.1	3.4	0.0
総数		100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0

※ 「就業している」「就業していない」「未回答・無効回答」の割合は、総数に対する回答割合。

※ 「就業上の地位」の割合は、就業している親の回答割合。

表7-(1)-2 ひとり親家庭の親の就業状況(理由別)

【母子家庭】

状況		山形県						全国					
		R01			H26			H28			H23		
		死別	生別	総数									
就業している		87.0	94.0	93.8	94.1	94.4	94.1	70.3	83.1	81.8	73.2	81.2	80.6
就業上の地位	事業主	5.0	2.8	2.8	6.3	3.6	3.7	6.9	4.2	4.3	10.0	2.7	3.2
	常用雇用者	60.0	61.6	61.6	53.1	52.2	52.2	31.9	45.0	44.2	31.1	40.0	39.4
	臨時・パート	35.0	28.1	28.2	31.3	34.7	34.6	50.0	43.4	43.8	53.3	46.9	47.4
	派遣社員	0.0	4.3	4.3	3.1	4.3	4.3	1.7	4.9	4.6	1.1	5.0	4.7
	家族従業者	0.0	0.9	0.9	3.1	2.0	2.0	1.7	0.4	0.5	0.0	1.7	1.6
	その他	0.0	2.4	2.3	3.1	3.3	3.3	7.8	2.1	2.5	4.4	3.6	3.7
就業していない		8.7	4.5	4.6	5.9	4.7	4.9	17.0	8.6	9.4	17.9	14.8	15.0
未回答・無効回答		4.3	1.5	1.6	0.0	0.9	1.1	12.7	8.3	8.8	8.9	4.0	4.4
総数		100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0

【父子家庭】

状況		山形県						全国					
		R01			H26			H28			H23		
		死別	生別	総数									
就業している		85.7	95.5	94.7	87.1	92.3	91.6	79.2	87.3	85.4	91.5	91.2	91.3
就業上の地位	事業主	33.3	12.2	13.8	14.8	8.4	9.2	24.6	18.7	19.9	18.6	16.9	17.2
	常用雇用者	41.7	73.6	71.3	66.7	73.8	72.9	63.9	69.3	68.2	67.4	67.1	67.2
	臨時・パート	16.7	4.7	5.6	7.4	6.8	6.9	4.9	6.7	6.4	4.7	8.7	8.0
	派遣社員	0.0	4.7	4.4	3.7	5.2	5.0	1.6	1.4	1.4	1.2	2.1	2.0
	家族従業者	0.0	4.1	3.8	3.7	3.1	3.2	4.9	2.1	2.6	1.2	1.4	1.4
	その他	8.3	0.7	1.3	3.7	2.6	2.8	0.0	1.8	1.4	7.0	3.8	4.3
就業していない		7.1	1.9	2.4	12.9	5.8	6.7	9.1	4.6	5.4	7.4	4.9	5.3
未回答・無効回答		7.1	2.6	3.0	0.0	1.9	1.7	11.7	8.0	9.1	1.1	3.9	3.4
総数		100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0

※ 「就業している」「就業していない」「未回答・無効回答」の割合は、総数に対する回答割合。

※ 「就業上の地位」の割合は、就業している親の回答割合。

(2) 親の地位別末子の年齢階級別の構成割合

就業しているひとり親家庭の親のうち、母子家庭の母の「常用雇用者」では、「15～17歳」が最も多く、「臨時・パート」では「12～14歳」が最も多い。一方、父子家庭の父では、すべてにおいて「15～17歳」が最も多くなっている。

表7－(2)－1 ひとり親家庭の親の地位別末子の年齢階級別の構成割合

【母子家庭】

年齢	山形県						全国					
	R01			H26			H28			H23		
	常用 雇用者	臨時・ パート	総数									
0～2歳	5.0	3.5	4.3	8.7	10.5	9.4	3.3	5.1	4.3	4.2	9.3	6.6
3～5歳	10.3	10.1	10.1	11.5	17.7	14.0	10.8	11.9	11.4	6.4	15.7	11.4
6～8歳	12.9	18.9	14.8	14.1	20.3	16.6	12.1	19.0	15.4	14.1	12.9	14.3
9～11歳	18.1	15.8	17.9	20.0	18.0	19.2	16.1	17.0	16.2	19.5	17.0	18.0
12～14歳	23.0	25.0	23.2	24.9	16.7	21.7	22.1	17.4	19.8	21.2	20.2	20.4
15～17歳	23.6	21.9	23.1	20.0	15.7	18.3	23.7	21.0	22.0	24.7	17.5	20.4
18・19歳	7.1	4.8	6.6	0.9	1.0	0.9	12.0	8.6	10.9	9.9	7.4	8.9
総数	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0

【父子家庭】

年齢	山形県						全国					
	R01			H26			H28			H23		
	常用 雇用者	臨時・ パート	総数									
0～2歳	1.8	0.0	1.3	3.2	7.1	3.6	2.1	0.0	2.0	2.0	5.0	2.4
3～5歳	9.6	0.0	6.9	9.7	21.4	10.7	9.0	4.5	7.6	6.5	10.0	6.4
6～8歳	8.8	11.1	9.4	14.2	7.1	13.6	12.4	13.6	11.1	12.0	12.5	11.1
9～11歳	19.3	22.2	20.8	23.2	28.6	23.7	16.7	13.6	16.4	21.8	15.0	20.5
12～14歳	20.2	11.1	20.8	27.7	21.4	27.2	21.8	18.2	21.1	25.0	22.5	24.7
15～17歳	25.4	33.3	28.3	20.0	14.3	19.5	21.4	31.8	24.9	22.4	22.5	23.9
18・19歳	14.9	22.2	12.6	1.9	0.0	1.8	16.7	18.2	17.0	10.3	12.5	11.0
総数	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0

8. ひとり親家庭の親で就業していない者の就業希望

ひとり親家庭の親で就業していないもののうち、母子家庭の母では90.0%、父子家庭の父では75.0%が「就職したい」と回答している。

また、就業希望者のうち、就職していない（できない）理由としては、母子家庭の母・父子家庭の父とも「求職中である」が最も多く、次いで「時間について条件の合う仕事がない」、「子どもの世話をしてくれる人がいない」の順となっている。

表8-1 現在就業していない場合の就職希望の有無

【母子家庭】					【父子家庭】				
状況	山形県		全国		状況	山形県		全国	
	R01	H26	H28	H23		R01	H26	H28	H23
有	90.0	93.2	82.4	89.4	有	75.0	93.8	76.2	79.3
無	10.0	6.8	17.6	10.6	無	25.0	6.3	23.8	20.7
総数	100.0	100.0	100.0	100.0	総数	100.0	100.0	100.0	100.0

表8-2 不就業中で就職したい者について、就職していない（できない）理由

【母子家庭】				
状況	山形県		全国	
	R01	H26	H28	H23
子どもの世話をしてくれる人がいない	14.3	10.9	9.6	10.0
病気（病弱）で働けない	10.2	12.7	23.7	26.8
求職中である	44.9	43.6	51.9	38.2
職業訓練や、技能を習得中である	4.1	0.0	3.8	8.6
収入面で条件の合う仕事がない	4.1	7.3	0.6	0.5
時間について条件の合う仕事がない	18.4	16.4	3.2	4.1
その他	4.1	9.1	7.1	11.9
総数	100.0	100.0	100.0	100.0

【父子家庭】				
状況	山形県		全国	
	R01	H26	H28	H23
子どもの世話をしてくれる人がいない	16.7	9.1	6.7	0.0
病気（病弱）で働けない	0.0	27.3	20.0	30.4
求職中である	50.0	31.8	60.0	39.1
職業訓練や、技能を習得中である	0.0	0.0	0.0	0.0
収入面で条件の合う仕事がない	0.0	13.6	0.0	0.0
時間について条件の合う仕事がない	33.3	9.1	6.7	4.3
その他	0.0	9.1	6.7	26.0
総数	100.0	100.0	100.0	100.0

※ 複数回答。

※ 現在の就業上の地位について「就業していない」と回答し、かつ就職の希望について「就職したい」と回答した親の回答割合。

免許・資格について

9. ひとり親家庭の親が現在有している免許・資格

ひとり親家庭の親が現在有している免許・資格は(就労状況問わず)、母子家庭の母は、その他を除き、「簿記」、「パソコン」、「ホームヘルパー」の順となり、父子家庭の父は、「大型、第二種自動車免許」、「簿記」、「パソコン」の順となっている。

現在就業中の親に、資格が仕事に役立っているか聞いたところ、母子家庭で64.3%、父子家庭で60.7%が「役立っている」と回答している。

また、母子家庭の母の資格の種類別でみると、「役立っている」の割合が高い資格は、「理学療法士」が最も高く、次いで「看護師」、「介護福祉士」、「理・美容師」の順となっている。

表9-1 ひとり親家庭の親が現在持っている各種資格等

種類	山形県		種類	山形県	
	R01	H26		R01	H26
簿記	14.2	21.1	簿記	7.7	6.7
ホームヘルパー	7.6	10.1	ホームヘルパー	2.6	4.1
教員	2.1	2.5	教員	2.0	2.1
看護師	3.7	3.8	看護師	0.5	0.5
調理師	4.2	5.7	調理師	3.6	4.1
理・美容師	2.2	3.0	理・美容師	1.0	0.5
パソコン	10.4	12.8	パソコン	5.1	3.1
外国語	1.5	2.0	外国語	0.5	0.0
栄養士	0.8	0.9	栄養士	0.0	0.5
介護福祉士	6.2	4.8	介護福祉士	3.1	4.1
保育士	3.1	2.9	保育士	0.5	0.0
理学療法士	0.2	0.4	理学療法士	0.0	0.0
作業療法士	0.0		作業療法士	0.5	
医療事務	5.7	7.6	医療事務	0.0	0.0
大型、第二種自動車免許	3.0	1.0	大型、第二種自動車免許	18.9	32.0
その他	10.6	10.7	その他	13.3	24.2
特になし		10.7	特になし		18.0
未回答・無効回答	24.6		未回答・無効回答	40.8	
総数	100.0	100.0	総数	100.0	100.0

※ 複数回答。

※ 「特になし」はR01から回答項目を削除。新たに「未回答・無効回答」を集計対象としている。

表9-2 現在、仕事で資格が役立っているか否か<R01 新規調査>

【母子家庭】

状況	山形県		全国	
	R01	H26	H28	H23
資格が役立っている	64.3	/	60.9	60.7
資格が役立っていない	35.7		39.1	39.3
総数	100.0		100.0	100.0

【父子家庭】

状況	山形県		全国	
	R01	H26	H28	H23
資格が役立っている	60.7	/	74.4	/
資格が役立っていない	39.3		25.8	
総数	100.0		100.0	

※ 現在資格を保有しており、かつ現在就業している親の回答割合。

表9-3 現在就業している母子家庭の母の資格の有無等（資格の種類別）＜R01 新規調査＞

【母子家庭】

種類	山形県 (R01)				全国 (H28)			
	資格あり				資格あり			
		役立って いる	役立って いない	未回答・無 効回答		役立って いる	役立って いない	未回答・無 効回答
簿記	18.8	53.0	43.9	3.0	15.9	48.9	48.9	2.2
ホームヘルパー	10.2	68.5	27.0	4.5	12.6	62.7	35.4	1.9
教員	2.8	70.8	29.2	0.0	3.5	61.0	30.5	8.5
看護師	4.9	97.7	2.3	0.0	4.5	97.4	1.3	1.3
准看護師					3.0	94.1	2.0	3.9
調理師	5.4	55.3	40.4	4.3	2.8	44.7	53.2	2.1
理・美容師	2.8	79.2	20.8	0.0	2.3	73.7	23.7	2.6
パソコン	13.8	60.0	35.8	4.2	10.8	55.5	39.0	5.5
外国語	2.0	70.6	23.5	5.9	1.8	54.8	41.9	3.2
栄養士	1.0	55.6	44.4	0.0	1.2	61.9	38.1	0.0
介護福祉士	8.4	86.3	11.0	2.7	6.0	89.1	7.9	3.0
保育士	4.0	71.4	25.7	2.9	4.8	61.7	33.3	4.9
理学療法士	0.2	100.0	0.0	0.0	0.2	66.7	33.3	0.0
作業療法士	0.0	0.0	0.0	0.0	0.2	100.0	0.0	0.0
医療事務	7.2	44.4	49.2	6.3	6.1	54.4	42.7	2.9
大型、第二種自動車免許	4.1	50.0	41.7	8.3	2.0	41.2	55.9	2.9
その他	14.4	71.2	26.4	2.4	21.7	57.3	39.7	3.0

- ※ 複数回答。
- ※ 父子家庭の父は母数が少ないため母子家庭の母のみ掲載。
- ※ 資格ありの割合は、現在就業している母子家庭の母のうち、各資格を有している母の割合。
- ※ 資格ありの内訳は、資格は仕事で役立っているか否かの各資格の回答割合。

10. ひとり親家庭の親が今後身につけたい免許・資格

ひとり親家庭の親が今後身につけたい免許・資格は、母子家庭の母は「パソコン」が最も多く、次いで「医療事務」、「簿記」の順となっている。

父子家庭の父は、「大型、第二種自動車免許」が最も多く、次いで「パソコン」、「調理師」の順となっている。

表10 今後仕事のために身につけたい免許、資格等

【母子家庭】

種類	山形県	
	R01	H26
簿記	4.9	6.2
ホームヘルパー	1.8	6.9
教員	0.3	0.6
看護師	1.9	3.0
調理師	1.5	4.5
理・美容師	0.6	0.4
パソコン	8.0	18.2
外国語	2.3	6.4
栄養士	2.2	4.2
介護福祉士	3.2	8.2
保育士	2.2	3.1
理学療法士	1.1	2.8
作業療法士	1.0	
医療事務	7.3	14.2
大型、第二種自動車免許	2.0	1.9
その他	3.2	5.9
特になし		13.4
未回答・無効回答	56.7	
総数	100.0	100.0

【父子家庭】

種類	山形県	
	R01	H26
簿記	0.5	5.2
ホームヘルパー	0.5	3.0
教員	0.0	0.7
看護師	0.0	0.7
調理師	2.2	4.5
理・美容師	1.1	0.7
パソコン	3.2	17.2
外国語	1.1	5.2
栄養士	0.5	2.2
介護福祉士	0.0	6.7
保育士	1.1	1.5
理学療法士	1.1	3.0
作業療法士	1.1	
医療事務	1.1	3.0
大型、第二種自動車免許	8.1	25.4
その他	2.2	4.5
特になし		16.4
未回答・無効回答	76.2	
総数	100.0	100.0

※ 複数回答。

※ 「特になし」は、R01 から回答項目を削除。新たに「未回答・無効回答」を集計対象としている。

収入について

1.1. ひとり親家庭の平成30年の世帯の年間総収入

平成30年のひとり親家庭の世帯の年間総収入は、母子家庭の32.1%、父子家庭の24.1%と、ともに「200万円～300万円未満」が最も多くなっている。

世帯の年間総収入が200万円未満の割合では、母子家庭が29.5%、父子家庭が15.9%となっている。

前回調査と比較すると母子家庭では、「100万円未満」、「100万円～200万円未満」の割合が減少し、「200万円～300万円未満」、「300万円～400万円未満」、「400万円～500万円未満」の割合が増加している。

表1.1 平成30年の世帯の年間総収入

【母子家庭】

種類	山形県	
	R01	H26
100万円未満	4.3	6.2
100万円～200万円未満	25.2	32.2
200万円～300万円未満	32.1	27.5
300万円～400万円未満	15.9	13.6
400万円～500万円未満	10.6	9.8
500万円～600万円未満	4.1	5.2
600万円～700万円未満	4.3	2.8
700万円以上	3.5	2.8
総数	100.0	100.0

【父子家庭】

種類	山形県	
	R01	H26
100万円未満	5.1	4.4
100万円～200万円未満	10.8	10.8
200万円～300万円未満	24.1	26.6
300万円～400万円未満	19.0	21.2
400万円～500万円未満	21.5	21.2
500万円～600万円未満	6.3	7.4
600万円～700万円未満	7.6	3.9
700万円以上	5.7	4.4
総数	100.0	100.0

- ※ 調査は令和元年に実施しているが、収入については、前年（平成30年）の収入額を回答。
- ※ 「世帯の年間総収入」には、同居の家族の収入等を含む。
- ※ 「年間総収入」には、すべての収入（生活保護法に基づく給付、児童扶養手当等の社会保障給付金、就労収入（税金や社会保険料を含む）、別れた元配偶者からの養育費、親からの仕送り、家賃・地代等の収入等）を含む。

12. ひとり親家庭の平成30年の自身の年間総収入

平成30年のひとり親家庭の自身の年間総収入は、母子家庭の母は、「100万円～200万円未満」が36.2%で最も多く、父子家庭は、「200万円～300万円未満」が33.8%で最も多くなっている。

自身の年間総収入が200万円未満の割合を比較すると、母子家庭の母が43.7%（世帯の年間総収入より14.2ポイント増加）、父子家庭の父が21.7%（世帯の年間総収入より5.8ポイント増加）となっている。

表12 平成30年の自身の年間総収入<R01 新規調査>

【母子家庭】			【父子家庭】		
種類	山形県		種類	山形県	
	R01	H26		R01	H26
100万円未満	7.5		100万円未満	5.1	
100万円～200万円未満	36.2		100万円～200万円未満	16.6	
200万円～300万円未満	34.8		200万円～300万円未満	33.8	
300万円～400万円未満	14.1		300万円～400万円未満	21.0	
400万円～500万円未満	4.5		400万円～500万円未満	16.6	
500万円～600万円未満	1.7		500万円～600万円未満	3.8	
600万円～700万円未満	0.9		600万円～700万円未満	1.9	
700万円以上	0.2		700万円以上	1.3	
総数	100.0		総数	100.0	

- ※ 調査は令和元年に実施しているが、収入については前年（平成30年）の収入額を回答。
- ※ 「年間総収入」には、すべての収入（生活保護法に基づく給付、児童扶養手当等の社会保障給付金、就労収入（税金や社会保険料を含む）、別れた元配偶者からの養育費、親からの仕送り、家賃・地代等の収入等）を含む。

13. ひとり親家庭の平成30年の自身の年間就労収入

(1) 年間就労収入

平成30年のひとり親家庭の親の年間就労収入は、母子家庭の母は「100万円～200万円未満」が最も多く、前回調査と比較すると「100万円～200万円未満」が3.6ポイント減少し、「200万円～300万円未満」が5.3ポイント増加している。

一方、父子家庭の父は「200万円～300万円未満」が最も多くなっているが、前回調査と比較すると「200万円～300万円未満」が2.6ポイント減少し、「100万円～200万円未満」が4.3ポイント増加している。

また、自身の年間就労収入が200万円未満の割合を比較すると、母子家庭の母が55.2%（自身の年間総収入より11.5ポイント増加）、父子家庭の父が29.3%（自身の年間総収入より7.6ポイント増加）となっている。

表13-（1） 平成30年の自身の年間就労収入

【母子家庭】

種類	山形県	
	R01	H26
100万円未満	13.0	15.8
100万円～200万円未満	42.2	45.8
200万円～300万円未満	29.1	23.8
300万円～400万円未満	9.5	7.7
400万円～500万円未満	3.6	5.8
500万円～600万円未満	1.5	0.8
600万円～700万円未満	0.9	0.1
700万円以上	0.1	0.2
総数	100.0	100.0

【父子家庭】

種類	山形県	
	R01	H26
100万円未満	6.4	7.7
100万円～200万円未満	22.9	18.6
200万円～300万円未満	32.9	35.5
300万円～400万円未満	17.1	19.5
400万円～500万円未満	15.7	15.9
500万円～600万円未満	2.9	0.9
600万円～700万円未満	1.4	1.4
700万円以上	0.7	0.5
総数	100.0	100.0

※ 調査は令和元年に実施しているが、収入については前年（平成30年）の収入額を回答。

(2) 年間就労収入の地位別の構成割合

現在就労しているひとり親家庭の親の地位別の年間就労収入の構成割合は、母子家庭の母の「常用雇用者」では、「200万円～300万円未満」が38.1%で最も多く、「臨時・パート」は「100万円～200万円未満」が56.3%で最も多くなっている。前回調査と比較すると「常用雇用者」は「200万円～300万円未満」が5.3ポイント増加し、「100万円～200万円未満」が4.5ポイント減少している。

父子家庭の父の「常用雇用者」では、「200万円～300万円未満」が38.8%で最も多く、次いで「300万円～400万円未満」と「400万円～500万円未満」が21.4%で同順となっており、母子家庭の母と比較すると300万円以上の割合が高くなっている。

表13- (2) 現在就業しているひとり親家庭の親の地位別年間就労収入の構成割合
【母子家庭】

金額	山形県 (R01)			全国 (H28)		
	常用雇用者	臨時・パート	総数	常用雇用者	臨時・パート	総数
100万円未満	2.9	29.1	12.0	3.9	30.1	17.0
100万円～200万円未満	35.2	56.3	42.3	21.9	52.9	37.9
200万円～300万円未満	38.1	13.1	29.8	31.4	14.3	23.6
300万円～400万円未満	14.2	1.5	9.6	21.5	2.4	11.5
400万円～500万円未満	5.8	0.0	3.8	21.3	0.4	9.9
500万円～600万円未満	2.4	0.0	1.5			
600万円～700万円未満	1.5	0.0	1.0			
700万円以上	0.0	0.0	0.1			
総数	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
	山形県 (H26)			全国 (H23)		
100万円未満	3.7	27.1	12.8	5.4	36.3	22.3
100万円～200万円未満	39.7	57.1	46.5	24.9	50.1	38.7
200万円～300万円未満	32.8	10.7	24.2	33.5	11.6	21.2
300万円～400万円未満	14.0	1.4	9.1	19.5	1.7	9.9
400万円～500万円未満	7.6	3.6	6.0	16.6	0.4	8.0
500万円～600万円未満	1.6	0.0	1.0			
600万円～700万円未満	0.2	0.0	0.1			
700万円以上	0.5	0.0	0.3			
総数	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0

【父子家庭】

金額	山形県 (R01)			全国 (H28)		
	常用 雇用者	臨時・ パート	総数	常用 雇用者	臨時・ パート	総数
100万円未満	1.0	0.0	3.7	1.1	7.1	3.7
100万円～200万円未満	12.2	85.7	23.0	5.7	64.3	12.7
200万円～300万円未満	38.8	0.0	34.1	16.5	14.3	17.2
300万円～400万円未満	21.4	14.3	17.8	28.4	14.3	25.8
400万円～500万円未満	21.4	0.0	16.3	48.3	0.0	40.6
500万円～600万円未満	3.1	0.0	3.0			
600万円～700万円未満	2.0	0.0	1.5			
700万円以上	0.0	0.0	0.7			
総数	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
	山形県 (H26)			全国 (H23)		
100万円未満	0.7	14.3	1.9	2.5	21.6	6.7
100万円～200万円未満	11.5	42.9	14.2	4.9	37.8	12.2
200万円～300万円未満	39.9	42.9	40.1	19.7	35.1	21.4
300万円～400万円未満	25.7	0.0	23.5	22.2	2.7	19.9
400万円～500万円未満	21.6	0.0	19.8	50.8	2.7	39.8
500万円～600万円未満	0.7	0.0	0.6			
600万円～700万円未満	0.0	0.0	0.0			
700万円以上	0.0	0.0	0.0			
総数	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0

(3) 年間就労収入の末子の状況別の構成割合

母子家庭のすべてにおいて「100万円～200万円未満」が最も多く、次いで「200万円～300万円未満」となっている。また、前回調査と比べ、「100万円～200万円未満」の割合は減少し、「200万円～300万円未満」の割合が増えている。

一方、父子家庭の「小学校入学前」から「中学校」までは「200万円～300万円未満」が最も多く、「高校」では「100万円～200万円未満」が最も多くなっている。

表13- (3) 末子の状況別ひとり親家庭の年間収入額

【母子家庭】

金額	山形県 (R01)					全国 (H28)				
	小学校入学前	小学生	中学生	高校生	総数	小学校入学前	小学生	中学生	高校生	総数
100万円未満	19.4	11.1	11.4	11.6	13.0	7.8	7.7	5.1	4.7	6.1
100万円～200万円未満	37.2	42.5	46.7	41.9	42.2	18.4	17.6	18.8	17.8	17.4
200万円～300万円未満	28.7	31.0	22.8	31.6	29.1	19.4	29.5	27.4	27.9	26.3
300万円～400万円未満	8.5	9.2	13.8	8.4	9.6	20.4	15.6	20.1	21.3	19.2
400万円～500万円未満	4.7	3.4	3.0	3.2	3.5	34.0	29.5	28.6	28.3	31.0
500万円～600万円未満	0.0	2.3	1.2	1.3	1.5					
600万円～700万円未満	1.6	0.4	1.2	1.3	0.9					
700万円以上	0.0	0.0	0.0	0.6	0.1					
総数	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
	山形県 (H26)					全国 (H23)				
100万円未満	21.4	16.5	9.6	14.5	15.8	17.0	9.1	9.8	8.0	10.8
100万円～200万円未満	49.5	49.3	44.7	38.8	45.8	28.1	26.5	24.6	26.0	26.4
200万円～300万円未満	18.4	21.1	30.9	28.5	23.8	24.7	28.2	33.0	21.8	26.9
300万円～400万円未満	4.6	6.3	9.6	10.9	7.7	10.1	18.0	13.7	17.9	15.4
400万円～500万円未満	5.6	6.3	4.3	4.8	5.8	20.1	18.2	18.9	26.3	20.5
500万円～600万円未満	0.5	0.4	0.5	1.8	0.8					
600万円～700万円未満	0.0	0.0	0.5	0.0	0.1					
700万円以上	0.0	0.0	0.0	0.6	0.2					
総数	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0

【父子家庭】

金額	山形県 (R01)					全国 (H28)				
	小学校 入学前	小学生	中学生	高校生	総数	小学校 入学前	小学生	中学生	高校生	総数
100万円未満	0.0	5.0	5.7	7.0	6.5	3.3	0.0	2.2	2.7	2.0
100万円～ 200万円未満	38.5	20.0	20.0	27.9	23.2	10.0	4.8	6.5	10.7	7.4
200万円～ 300万円未満	38.5	32.5	42.9	25.6	33.3	3.3	11.1	8.7	10.7	9.0
300万円～ 400万円未満	15.4	17.5	11.4	18.6	15.9	16.7	20.6	21.7	18.7	19.3
400万円～ 500万円未満	7.7	15.0	20.0	14.0	15.9	66.7	63.5	60.9	57.3	62.3
500万円～ 600万円未満	0.0	2.5	0.0	7.0	2.9					
600万円～ 700万円未満	0.0	5.0	0.0	0.0	1.4					
700万円以上	0.0	2.5	0.0	0.0	0.7					
総数	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
	山形県 (H26)					全国 (H23)				
100万円未満	4.5	10.3	8.3	4.2	7.7	0.0	4.2	2.3	3.6	3.1
100万円～ 200万円未満	22.7	17.9	23.3	12.5	18.6	9.6	6.6	8.3	8.1	8.9
200万円～ 300万円未満	40.9	33.3	35.0	37.5	35.5	25.0	17.5	17.3	19.8	19.0
300万円～ 400万円未満	18.2	17.9	20.0	20.8	19.5	19.2	25.3	22.6	13.5	19.3
400万円～ 500万円未満	13.6	17.9	13.3	16.7	15.9	46.2	46.4	49.6	55.0	49.7
500万円～ 600万円未満	0.0	1.3	0.0	2.1	0.9					
600万円～ 700万円未満	0.0	1.3	0.0	4.2	1.4					
700万円以上	0.0	0.0	0.0	2.1	0.5					
総数	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0

14. ひとり親家庭の現在の暮らしの状況

現在の暮らしの状況は、「大変苦しい」「苦しい」「やや苦しい」を合わせた割合は、母子家庭80.0%、父子家庭78.7%となっており、母子家庭・父子家庭ともに約8割が苦しい状態におかれている。

母子家庭において不足している費用は「日常の生活費」が最も多いが、「子どもの就学・通学のための費用」と「子どもの学習塾・習い事のための費用」を合わせた子どもに係る費用が35.6%となり、「日常の生活費」30.6%を上回っている。

前回調査と比較すると、母子家庭・父子家庭ともに「日常の生活費」の割合が減少し、子どもに係る費用が増加している。

表14-（1） ひとり親家庭の現在の暮らしの状況

状況	山形県		状況	山形県	
	R01	H26		R01	H26
大変苦しい	19.2	18.9	大変苦しい	21.9	18.1
苦しい	33.1	32.9	苦しい	27.2	34.0
やや苦しい	27.7	30.1	やや苦しい	29.6	28.2
ふつう	16.3	14.8	ふつう	17.2	15.1
ややゆとりがある	0.8	1.0	ややゆとりがある	1.2	0.8
ゆとりがある	0.3	0.3	ゆとりがある	0.0	0.0
未回答・無効回答	2.5	2.0	未回答・無効回答	3.0	3.8
総数	100.0	100.0	総数	100.0	100.0

表14-（2） 不足している費用について

内容	山形県 (R01)		山形県 (H26)	
	母子家庭	父子家庭	母子家庭	父子家庭
日常の生活費	30.6	30.7	31.4	33.2
転居のための費用	5.4	2.1	5.4	2.1
就職のための費用 (技能修得)	2.2	1.0	3.6	3.9
医療・療養のための費用	3.6	3.8	3.3	5.7
住宅新築・増改築費用	4.0	9.0	4.3	8.3
子どもの学習塾・ 習い事のための費用	17.0	11.7	16.0	11.2
子どもの就学・通学のための費用	18.6	19.3	17.7	15.6
子どもの結婚費用	1.9	2.1	2.1	3.4
教養・娯楽費	6.2	6.6	5.6	4.9
交際費	2.6	4.5	2.9	2.9
その他	3.1	3.1	3.4	2.6
未回答・無効回答	4.8	6.2	4.3	6.2

※ 複数回答。

※ 現在の暮らしの状況で「大変苦しい」「苦しい」「やや苦しい」と回答した親の回答割合。

養育費について

15. ひとり親家庭における元配偶者からの養育費の状況

(1) 養育費の取り決め

文書の有無にかかわらず取り決めをしている者が、母子家庭で58.5%、父子家庭で47.4%となっており、どちらも前回調査より増加している。

表15- (1) 養育費の取り決めの状況

【母子家庭】

状況	山形県		全国	
	R01	H26	H28	H23
文書で取り決めをしている (判決、調停、審判など裁判所による取決め)	30.9	36.9	25.0	26.7
文書で取り決めをしている (その他の文書)	15.4		6.4	
文章はないが、取り決めをしている	12.2	14.4	11.3	10.4
その他(取り決めをしている)			0.2	0.6
取り決めをしていない	37.8	46.7	54.2	60.1
未回答・無効回答	3.6	2.0	2.9	2.2
総数	100.0	100.0	100.0	100.0

【父子家庭】

状況	山形県		全国	
	R01	H26	H28	H23
文書で取り決めをしている (判決、調停、審判など裁判所による取決め)	24.7	15.6	11.4	10.6
文書で取り決めをしている (その他の文書)	7.1		4.2	
文章はないが、取り決めをしている	15.6	13.2	4.9	6.7
その他(取り決めをしている)			0.3	0.2
取り決めをしていない	51.9	66.8	74.4	79.1
未回答・無効回答	0.6	4.4	4.9	3.4
総数	100.0	100.0	100.0	100.0

※ ひとり親家庭になった理由で「離婚」と回答した親の回答割合。

(2) 養育費の取り決めの有無 (就労収入別)

表 15 - (2) 養育費の取り決めの有無 (就労収入階級別)

【母子家庭】

金額	山形県				全国			
	R01		H26		H28		H23	
取り決めをして	いる	いない	いる	いない	いる	いない	いる	いない
100万円未満	51.9	48.1	57.1	42.9	43.4	55.9	37.5	62.1
100万円～ 200万円未満	58.9	41.1	47.8	52.2	41.5	55.3	39.4	59.0
200万円～ 300万円未満	65.8	34.2	57.9	42.1	45.1	53.6	38.0	61.2
300万円～ 400万円未満	65.0	35.0	55.0	45.0	47.4	49.6	40.0	57.1
400万円～ 500万円未満	52.0	48.0	58.5	41.5	52.4	46.0	45.2	54.8
500万円～ 600万円未満	90.0	10.0	66.7	33.3				
600万円～ 700万円未満	75.0	25.0	100.0	0.0				
700万円以上	100.0	0.0	0.0	0.0				
総数	61.0	39.0	53.0	47.0	42.7	54.2	37.7	60.1

【父子家庭】

金額	山形県				全国			
	R01		H26		H28		H23	
取り決めをして	いる	いない	いる	いない	いる	いない	いる	いない
100万円未満	28.6	71.4	25.0	75.0	23.5	70.6	5.9	91.2
100万円～ 200万円未満	46.4	53.6	34.3	65.7	25.0	71.4	11.5	88.5
200万円～ 300万円未満	45.5	54.5	24.3	75.7	12.1	87.9	11.3	85.0
300万円～ 400万円未満	52.6	47.4	37.1	62.9	28.8	65.4	23.1	75.6
400万円～ 500万円未満	54.5	45.5	23.1	76.9	27.4	70.2	21.3	75.9
500万円～ 600万円未満	0.0	100.0	50.0	50.0				
600万円～ 700万円未満	50.0	50.0	0.0	100.0				
700万円以上	100.0	0.0	0.0	100.0				
総数	47.2	52.8	28.6	71.4	20.8	74.4	17.5	79.1

※ ひとり親家庭になった理由で「離婚」と回答した親の回答割合。

(3) 養育費の取り決めをしていない理由

(2)において、養育費の「取り決めをしていない」と回答した者に対し、その理由を聞いたところ、母子家庭・父子家庭とも、「相手に支払う意思や能力がないと思った」が最も多く、次いで「相手と関わりたくない」が多くなっている。

前回調査と比較すると、母子家庭・父子家庭とも「相手に支払う意思や能力がないと思った」が減少し、「相手と関わりたくない」が増加している。

表15－(3) 養育費の取り決めをしていない理由

【母子家庭】

状況	山形県		全国	
	R01	H26	H28	H23
自分の収入で経済的に問題がないから	0.8	0.6	2.8	2.1
取り決めの交渉がわずらわしい	3.1	3.0	5.4	4.6
相手に支払う意思や能力がないと思った	39.4	45.2	38.6	48.6
相手に養育費を請求できると思わなかった	1.5	1.9	0.1	3.1
子どもを引きとった方が、養育費を負担するものと思っていた	0.8	0.6	0.6	1.5
取り決めの交渉をしたがまとまらなかった	5.8	13.2	5.4	8.0
現在交渉中又は今後交渉予定である	0.8	0.8	0.9	1.0
相手から身体的・精神的暴力を受けた	7.3		4.8	
相手と関わりたくない	35.1	28.1	31.4	23.1
その他	5.4	6.6	10.1	7.9
総数	100.0	100.0	100.0	100.0

【父子家庭】

状況	山形県		全国	
	R01	H26	H28	H23
自分の収入で経済的に問題がないから	8.2	6.1	17.5	21.5
取り決めの交渉がわずらわしい	5.5	3.1	0.4	3.6
相手に支払う意思や能力がないと思った	38.4	51.9	31.9	34.8
相手に養育費を請求できると思わなかった	2.7	3.8	0.4	4.8
子どもを引きとった方が、養育費を負担するものと思っていた	4.1	3.8	7.0	8.5
取り決めの交渉をしたがまとまらなかった	2.7	1.5	8.3	1.5
現在交渉中又は今後交渉予定である	0.0	0.0	0.4	0.0
相手から身体的・精神的暴力を受けた	2.7		0.4	
相手と関わりたくない	31.5	26.0	20.5	17.0
その他	4.1	3.8	13.1	8.1
総数	100.0	100.0	100.0	100.0

※ 「相手から身体的・精神的暴力を受けた」は、令和元年より回答項目を追加。

※ ひとり親家庭になった理由で「離婚」と回答し、かつ養育費の取り決めで「取り決めをしていない」と回答した親の回答割合。

(4) 養育費の受給状況

離婚した元配偶者からの養育費の受給状況は、母子家庭では、「現在も受けている」が35.5%と前回調査より3.1ポイント増加した。逆に「養育費を受けたことがない」が前回調査より7.0ポイント減少している。

表15-(4)-1 養育費の受給の状況

【母子家庭】

状況	山形県			全国		
	R01	H26	H21	H28	H23	H18
現在も受けている	35.5	32.4	28.1	24.3	19.7	19.0
受けたことがあるが現在は受けていない	17.6	16.3	18.2	15.5	15.8	16.0
養育費を受けたことがない	44.4	51.4	53.7	56.0	60.7	59.1
未回答・無効回答	2.4			4.2	3.8	5.9
総数	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0

【父子家庭】

状況	山形県			全国		
	R01	H26	H21	H28	H23	H18
現在も受けている	7.8	8.2	8.3	3.2	4.1	2.0
受けたことがあるが現在は受けていない	5.8	5.5	4.4	4.9	2.9	2.0
養育費を受けたことがない	83.8	86.3	87.3	86.0	89.7	88.5
未回答・無効回答	2.6			5.8	3.4	7.4
総数	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0

※ ひとり親家庭になった理由で「離婚」と回答した親の回答割合。

表 15 - (4) - 2 養育費の受給状況 (就労収入階級別)

【母子家庭】

金額	山形県					
	R01			H26		
	現在も受けている	過去に受けたことがある	受けたことがない	現在も受けている	過去に受けたことがある	受けたことがない
100 万円未満	38.2	14.5	47.4	42.1	13.1	44.9
100 万円～ 200 万円未満	36.0	15.9	48.1	26.6	17.5	55.9
200 万円～ 300 万円未満	38.3	20.4	41.3	35.1	14.9	50.0
300 万円～ 400 万円未満	41.7	20.0	38.3	42.4	18.6	39.0
400 万円～ 500 万円未満	28.0	28.0	44.0	32.5	22.5	45.0
500 万円～ 600 万円未満	70.0	0.0	30.0	33.3	33.3	33.3
600 万円～ 700 万円未満	50.0	25.0	25.0	100.0	0.0	0.0
700 万円以上	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0
総数	37.8	17.7	44.5	32.6	16.7	50.7

金額	全国					
	H28			H23		
	現在も受けている	過去に受けたことがある	受けたことがない	現在も受けている	過去に受けたことがある	受けたことがない
100 万円未満	29.5	12.5	55.5	21.3	14.3	63.5
100 万円～ 200 万円未満	26.9	15.8	54.9	20.7	15.9	58.5
200 万円～ 300 万円未満	21.2	20.1	56.0	15.1	18.8	64.1
300 万円～ 400 万円未満	23.4	20.4	51.8	23.8	13.3	59.0
400 万円～ 500 万円未満	31.5	10.5	53.2	23.3	19.2	54.8
500 万円～ 600 万円未満						
600 万円～ 700 万円未満						
700 万円以上						
総数	24.3	15.5	56.0	19.7	15.8	60.7

【父子家庭】

金額	山形県					
	R01			H26		
	現在も受けている	過去に受けたことがある	受けたことがない	現在も受けている	過去に受けたことがある	受けたことがない
100万円未満	0.0	14.3	85.7	0.0	8.3	91.7
100万円～200万円未満	3.7	7.4	88.9	6.1	6.1	87.9
200万円～300万円未満	4.7	7.0	88.4	6.2	3.1	90.8
300万円～400万円未満	15.8	0.0	84.2	11.8	5.9	82.4
400万円～500万円未満	9.1	9.1	81.8	8.3	8.3	83.3
500万円～600万円未満	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	100.0
600万円～700万円未満	50.0	0.0	50.0	0.0	0.0	100.0
700万円以上	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	100.0
総数	7.3	6.5	86.2	7.0	5.2	87.8

金額	全国					
	H28			H23		
	現在も受けている	過去に受けたことがある	受けたことがない	現在も受けている	過去に受けたことがある	受けたことがない
100万円未満	5.9	0.0	94.1	2.9	0.0	94.1
100万円～200万円未満	0.0	10.7	89.3	7.7	1.9	88.5
200万円～300万円未満	0.0	9.1	84.8	1.3	2.5	92.5
300万円～400万円未満	3.8	3.8	90.4	6.4	0.0	91.0
400万円～500万円未満	8.3	7.1	78.6	2.1	5.0	90.8
500万円～600万円未満						
600万円～700万円未満						
700万円以上						
総数	3.2	4.9	86.0	4.1	2.9	89.7

※ ひとり親家庭になった理由で「離婚」と回答した親の回答割合。

(5) 養育費を現在も受けている又は受けたことがある者の養育費(1世帯の平均)の状況
 母子家庭・父子家庭ともに、約9割が「額が決まっている」と回答している。
 また、一世帯当たりの平均額は、母子家庭で「34,090円」、父子家庭で
 「17,895円」となり、前回調査と比較すると額が減少している。

表15-(5)

養育費を現在も受けている又は受けたことがある者の養育費(1世帯の平均)の状況
 【母子家庭】

状況	山形県		全国	
	R01	H26	H28	H23
額が決まっている	89.3	84.2	84.4	80.2
額が決まっていない	5.1	9.5	10.7	19.8
未回答・無効回答	5.6	6.3	5.0	0.0
総数	100.0	100.0	100.0	100.0
一世帯平均額(月額)	34,090円	36,474円	43,707円	43,482円

【父子家庭】

状況	山形県		全国	
	R01	H26	H28	H23
額が決まっている	90.5	88.0	80.0	72.4
額が決まっていない	4.8	8.0	12.0	27.6
未回答・無効回答	4.8	4.0	8.0	0.0
総数	100.0	100.0	100.0	100.0
一世帯平均額(月額)	17,895円	22,184円	32,550円	32,238円

※ 一世帯平均額は、ひとり親家庭になった理由で「離婚」と回答し、かつ養育費の
 受給状況で「現在も受けている」「受けたことはあるが現在は受けていない」と
 回答した親の回答割合と養育費の平均金額。

面会交流について

16. 面会交流の実施状況

(1) 相談相手

母子家庭の母・父子家庭の父ともに、面会交流の相談相手としては、「両親」が最も多く、次いで「家庭裁判所」となっている。ただし「相談していない」の割合が最も高くなっている。

表16－(1) 面会交流の相談相手<R01 新規調査>

【母子家庭】

相談相手	山形県 (R01)	全国 (H28)
両親	19.7	
親族		17.6
知人・隣人	10.3	3.5
養育費相談支援センター	0.3	0.2
県・市町村窓口 (母子・父子自立支援員、母子家庭等就業・自立支援センターを含む)	2.4	0.8
母子・父子福祉団体	0.2	0.0
弁護士	7.8	4.9
家庭裁判所	12.6	6.3
NPO法人	0.3	0.0
その他	2.1	1.4
相談していない	41.5	61.9
未回答・無効回答	2.7	3.5
総数	100.0	100.0

【父子家庭】

相談相手	山形県 (R01)	全国 (H28)
両親	16.8	
親族		11.7
知人・隣人	7.1	2.3
養育費相談支援センター	0.0	0.0
県・市町村窓口 (母子・父子自立支援員、母子家庭等就業・自立支援センターを含む)	3.1	1.0
母子・父子福祉団体	0.0	0.3
弁護士	9.2	5.8
家庭裁判所	12.2	8.4
NPO法人	0.5	0.3
その他	1.5	1.0
相談していない	44.4	63.6
未回答・無効回答	5.1	5.5
総数	100.0	100.0

※ ひとり親家庭になった理由で「離婚」と回答した親の回答割合。

(2) 面会交流の取り決め

「面会交流の取り決めをしている」と回答したのは、母子家庭の母では30.6%、父子家庭の父では27.3%となっている。

また、面会交流の取り決め方法で、「文書で取り決めをしている」と回答した親の割合は、母子家庭の母では、74.4%、父子家庭の父では、69.1%となっており、父子家庭の父より母子家庭の母の割合が高くなっている。

表16-(2)-1 面会交流の取り決め状況<R01 新規調査>

【母子家庭】

状況	山形県		全国	
	R01	H26	H28	H23
面会交流の取り決めをしている	30.6	/	24.1	23.4
面会交流の取り決めをしていない	67.4		70.3	73.3
未回答・無効回答	1.9		5.6	3.3
総数	100.0		100.0	100.0

【父子家庭】

状況	山形県		全国	
	R01	H26	H28	H23
面会交流の取り決めをしている	27.3	/	27.3	16.3
面会交流の取り決めをしていない	67.5		66.9	79.9
未回答・無効回答	5.2		5.8	3.8
総数	100.0		100.0	100.0

※ ひとり親家庭になった理由で「離婚」と回答した親の回答割合。

表 16 - (2) - 2 面会交流の取り決め方法<R01 新規調査>

【母子家庭】

状況	山形県		全国	
	R01	H26	H28	H23
文書で取り決めをしている (判決、調停、審判など裁判所による取決め)	55.5	/	96.6	50.0
文書で取り決めをしている (その他の文書)	18.9		0.2	
文書なし	24.8		1.4	48.1
未回答・無効回答	0.8		1.8	1.6
総数	100.0		100.0	100.0

【父子家庭】

状況	山形県		全国	
	R01	H26	H28	H23
文書で取り決めをしている (判決、調停、審判など裁判所による取決め)	64.3	/	48.8	51.5
文書で取り決めをしている (その他の文書)	4.8		23.8	
文書なし	31.0		27.4	48.5
未回答・無効回答	0.0		0.0	0.0
総数	100.0		100.0	100.0

※ ひとり親家庭になった理由で「離婚」と回答し、かつ面会交流の取り決め状況で「面会交流の取り決めをしている」と回答した親の回答割合。

表16-(2)-3 面会交流の取り決め状況等(親の最終学歴別) <R01 新規調査>

【母子家庭】

親の学歴	山形県 (R01)							
	面会交流の取り決めをしている					取り決めをしていない	未回答・無効回答	
	文書あり	文書なし		未回答・無効回答				
文書で取り決めをしている(判決、調停、審判など裁判所による取決め)		文書で取り決めをしている(その他の文書)						
中学校	100.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0
高校	23.5	69.6	52.2	17.4	30.4	0.0	74.0	2.6
高等専門学校	34.9	73.4	66.7	6.7	26.7	0.0	65.1	0.0
短大	40.0	90.0	50.0	40.0	0.0	10.0	60.0	0.0
大学・大学院	35.6	73.8	53.4	20.4	25.2	1.0	62.6	1.7
専修学校・各種学校	29.3	77.8	51.9	25.9	22.2	0.0	67.4	3.3
その他	20.0	60.0	60.0	0.0	40.0	0.0	80.0	0.0

親の学歴	全国 (H28)							
	面会交流の取り決めをしている					取り決めをしていない	未回答・無効回答	
	文書あり	文書なし		未回答・無効回答				
文書で取り決めをしている(判決、調停、審判など裁判所による取決め)		文書で取り決めをしている(その他の文書)						
中学校	11.6	100.0	100.0	0.0	0.0	0.0	81.4	7.0
高校	20.4	94.4	94.4	0.0	1.9	3.7	74.6	5.0
高等専門学校	24.1	100.0	100.0	0.0	0.0	0.0	70.1	5.7
短大	32.5	98.7	98.7	0.0	0.0	1.3	63.7	3.8
大学・大学院	38.8	98.4	98.4	0.0	1.6	0.0	58.1	3.1
専修学校・各種学校	28.9	96.1	94.8	1.3	2.6	1.3	66.2	4.9
その他	14.3	100.0	100.0	0.0	0.0	0.0	78.6	7.1

【父子家庭】

親の学歴	山形県 (R01)							取り決めに していない	未回答・無 効回答
	面会交流の取り決めている					文書なし	未回答・無 効回答		
	文書あり	文書で取り 決めている(判決、 調停、審判な ど裁判所 による取決め)		文書で取り 決めている(その他 の文書)					
中学校		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0
高校	22.7	60.0	60.0	0.0	40.0	0.0	72.7	4.5	
高等専門 学校	20.0	50.0	50.0	0.0	50.0	0.0	70.0	10.0	
短大	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	
大学・大学 院	33.3	68.4	68.4	0.0	31.6	0.0	63.2	3.5	
専修学校・ 各種学校	33.3	100.0	80.0	20.0	0.0	0.0	60.0	6.7	
その他	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	

親の学歴	全国 (H28)							取り決めに していない	未回答・無 効回答
	面会交流の取り決めている					文書なし	未回答・無 効回答		
	文書あり	文書で取り 決めている(判決、 調停、審判な ど裁判所 による取決め)		文書で取り 決めている(その他 の文書)					
中学校		12.2	60.0	20.0	40.0	40.0	0.0	85.4	2.4
高校	27.5	70.5	54.5	15.9	29.5	0.0	65.6	6.9	
高等専門 学校	55.6	100.0	40.0	60.0	0.0	0.0	44.4	0.0	
短大	25.0	100.0	0.0	100.0	0.0	0.0	75.0	0.0	
大学・大学 院	29.8	85.7	50.0	35.7	14.3	0.0	68.1	2.1	
専修学校・ 各種学校	33.3	66.7	50.0	16.7	33.3	0.0	58.3	8.3	
その他	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	

※ 面会交流の取り決めは、ひとり親家庭になった理由で「離婚」と回答した親の回答割合。

※ 「面会交流の取り決めている」「取り決めにしていない」「未回答・無効回答」の割合は、総数に対する回答割合。

※ 「面会交流の取り決めている」の内訳の割合は、各学歴の面会交流の取り決めている親の回答割合。

※ 「文書あり」の内訳の割合は、各学歴の文書で取り決めている親の回答割合。

(3) 面会交流の取り決めをしていない理由

面会交流の取り決めをしていない理由は、母子家庭の母は「相手と関わりたくない」が最も多く、次いで「相手が養育費を支払わない又は支払えない」、「相手が面会交流を希望しない」、「取り決めをしなくても交流ができる」の順となっている。

一方、父子家庭の父は「相手と関わりたくない」が最も多く、次いで「取り決めをしなくても交流ができる」、「面会交流をすることが子どものためにならない」の順となっている。

表16－(3)－1 面会交流の取り決めをしていない理由<R01 新規調査>

【母子家庭】

理由	山形県 (R01)	全国 (H28)
取り決めの交渉がわずらわしい	4.0	5.9
相手から身体的、精神的暴力や児童虐待があった	7.1	3.1
相手と関わりたくない	24.9	25.0
相手が面会交流を希望しない	12.1	13.6
取り決めをしなくても交流ができる	12.1	18.9
子どもの連れ去りや虐待の可能性はある	2.4	0.3
子どもが会いたがらない	6.4	7.3
相手が養育費を支払わない又は支払えない	12.4	6.3
面会交流をすることが子どものためにならない	8.0	4.2
親族が反対している	1.9	0.8
取決めの交渉がまとまらなかった	0.6	1.6
現在交渉中又は今後交渉予定	0.3	0.8
その他	5.3	7.9
未回答・無効回答	2.4	4.3
総数	100.0	100.0

【父子家庭】

理由	山形県 (R01)	全国 (H28)
取り決めの交渉がわずらわしい	4.1	6.3
相手から身体的、精神的暴力や児童虐待があった	5.3	1.5
相手と関わりたくない	26.3	18.4
相手が面会交流を希望しない	6.4	7.3
取り決めでなくても交流ができる	14.6	29.1
子どもの連れ去りや虐待の可能性がある	5.3	0.5
子どもが会いたがらない	5.8	10.2
相手が養育費を支払わない又は支払えない	5.8	1.0
面会交流をすることが子どものためにならない	13.5	5.3
親族が反対している	1.2	0.5
取決めの交渉がまとまらなかった	1.2	1.9
現在交渉中又は今後交渉予定	0.0	1.0
その他	7.0	11.7
未回答・無効回答	3.5	5.3
総数	100.0	100.0

※ 複数回答。

※ ひとり親家庭になった理由で「離婚」と回答し、かつ面会交流の取り決めの状況で「取り決めでしていない」と回答した親の回答割合。

(4) 面会交流の実施状況

面会交流の実施状況は、「現在、面会交流を行っている」の割合は、母子家庭の母は28.2%、父子家庭の父は33.8%となっており、父子家庭の父の方が母子家庭の母より5.6ポイント高くなっている。

表16-(4)-1 面会交流の実施状況<R01 新規調査>

【母子家庭】

状況	山形県		全国	
	R01	H26	H28	H23
現在、面会交流を行っている	28.2	/	29.8	27.7
過去に面会交流を行ったが、現在は行っていない	20.2		19.1	17.6
面会交流を行ったことがない	48.9		46.3	50.8
未回答・無効回答	2.7		4.8	3.9
総数	100.0		100.0	100.0

【父子家庭】

状況	山形県		全国	
	R01	H26	H28	H23
現在、面会交流を行っている	33.8	/	45.5	37.4
過去に面会交流を行ったが、現在は行っていない	21.4		16.2	16.5
面会交流を行ったことがない	39.0		32.8	41.0
未回答・無効回答	5.8		5.5	5.0
総数	100.0		100.0	100.0

※ ひとり親家庭になった理由で「離婚」と回答した親の回答割合。

表16－(4)－2 面会交流の実施状況等(親の最終学歴別) <R01 新規調査>

【母子家庭】

親の学歴	山形県 (R01)				
	現在、面会交流を行っている	過去に面会交流を行ったが、現在は行っていない	面会交流を行ったことがない	未回答 無効回答	総数
中学校	0.0	100.0	0.0	0.0	100.0
高校	23.5	20.4	53.1	3.1	100.0
高等専門学校	44.2	14.0	41.9	0.0	100.0
短大	28.0	8.0	60.0	4.0	100.0
大学・大学院	27.3	22.5	47.4	2.8	100.0
専修学校・ 各種学校	28.3	18.5	53.3	0.0	100.0
その他	16.0	16.0	60.0	8.0	100.0
総数	28.2	20.2	48.9	2.7	100.0

親の学歴	全国 (H28)				
	現在、面会交流を行っている	過去に面会交流を行ったが、現在は行っていない	面会交流を行ったことがない	未回答 無効回答	総数
中学校	22.8	16.3	56.3	4.7	100.0
高校	28.6	18.0	49.1	4.3	100.0
高等専門学校	31.0	18.4	41.4	9.2	100.0
短大	36.3	21.9	39.2	2.5	100.0
大学・大学院	37.5	16.9	41.9	3.8	100.0
専修学校・ 各種学校	28.9	24.4	43.6	3.0	100.0
その他	21.4	14.3	50.0	14.3	100.0
総数	29.8	19.2	46.8	4.2	100.0

【父子家庭】

親の学歴	山形県 (R01)				総数
	現在、面会 交流を行っている	過去に面会 交流を行ったが、現在 は行っていない	面会交流を 行ったこと がない	未回答 無効回答	
中学校	0.0	0.0	100.0	0.0	100.0
高校	22.7	20.5	50.0	6.8	100.0
高等専門学校	30.0	10.0	50.0	10.0	100.0
短大	66.7	33.3	0.0	0.0	100.0
大学・大学院	43.9	19.3	33.3	3.5	100.0
専修学校・ 各種学校	33.3	33.3	26.7	6.7	100.0
その他	25.0	50.0	25.0	0.0	100.0
総数	33.8	21.4	39.0	5.8	100.0

親の学歴	全国 (H28)				総数
	現在、面会 交流を行っている	過去に面会 交流を行ったが、現在 は行っていない	面会交流を 行ったこと がない	未回答 無効回答	
中学校	31.7	24.4	41.5	2.4	100.0
高校	46.9	16.3	32.5	4.4	100.0
高等専門学校	55.6	0.0	44.4	0.0	100.0
短大	25.0	25.0	25.0	25.0	100.0
大学・大学院	48.9	10.6	31.9	8.5	100.0
専修学校・ 各種学校	52.8	16.7	25.0	5.6	100.0
その他	0.0	0.0	100.0	0.0	100.0
総数	45.5	16.1	33.4	5.0	100.0

※ ひとり親家庭になった理由で「離婚」と回答した親の回答割合。

(5) 面会交流の実施頻度

面会交流の実施頻度は、母子家庭の母は「月1回以上2回未満」が最も多く、次いで「2～3か月に1回以上」となっている。

父子家庭の父は「月2回以上」が最も多く、次いで「月1回以上2回未満」となっている。

表16-(5) 面会交流の実施頻度<R01 新規調査>

【母子家庭】

頻度	山形県		全国	
	R01	H26	H28	H23
月2回以上	11.9	/	13.1	13.1
月1回以上2回未満	26.5		23.1	23.4
2～3か月に1回以上	17.8		15.8	16.7
4～6か月に1回以上	16.9		15.9	15.4
長期休暇中	7.3		4.4	5.1
別途協議	1.8		3.3	3.8
その他	15.5		19.1	22.4
未回答・無効回答	2.3		5.4	0.0
総数	100.0		100.0	100.0

【父子家庭】

頻度	山形県		全国	
	R01	H26	H28	H23
月2回以上	32.7	/	21.1	18.7
月1回以上2回未満	23.1		20.0	23.6
2～3か月に1回以上	19.2		15.8	14.2
4～6か月に1回以上	5.8		13.7	13.8
長期休暇中	7.7		3.7	4.9
別途協議	0.0		4.7	5.3
その他	11.5		17.4	19.6
未回答・無効回答	0.0		3.7	0.0
総数	100.0		100.0	100.0

※ ひとり親家庭になった理由で「離婚」と回答し、かつ面会交流の実施状況で「現在面会交流を行っている」と回答した親の回答割合。

(6) 面会交流を実施していない理由

面会交流を実施していない理由は、母子家庭の母は「相手が面会交流を求めてこない」が最も多く、次いで「子どもが会いたがらない」、「相手が養育費を支払わない」の順となっている。

父子家庭の父は「相手が面会交流を求めてこない」が最も多く、次いで「子どもが会いたがらない」と「面会交流によって子どもが精神的又は身体的に不安定になる」が同順位となっている。

表16－(6) 現在面会交流を実施していない理由<R01 新規調査>

【母子家庭】

理由	山形県 (R01)	全国 (H28)
相手が養育費を支払わない	12.4	6.1
相手が面会の約束を守らない	5.0	0.9
子どもが会いたがらない	13.5	9.8
塾や学校の行事で子どもが忙しい	2.7	0.8
面会交流によって子どもが精神的又は身体的に不安定になる	6.6	3.7
相手に暴力などの問題行動がある	3.5	1.2
相手が面会交流を求めてこない	33.2	13.5
親族が反対している	2.3	0.8
第三者による面会交流の支援を受けられない	1.2	0.0
相手が結婚したから	9.7	2.3
その他	7.3	8.8
未回答・無効回答	2.7	52.1
総数	100.0	100.0

【父子家庭】

理由	山形県 (R01)	全国 (H28)
相手が養育費を支払わない	8.6	0.7
相手が面会の約束を守らない	2.9	1.3
子どもが会いたがらない	11.4	14.6
塾や学校の行事で子どもが忙しい	2.9	0.7
面会交流によって子どもが精神的又は身体的に不安定になる	11.4	8.6
相手に暴力などの問題行動がある	2.9	1.3
相手が面会交流を求めてこない	20.0	11.3
親族が反対している	5.7	2.0
第三者による面会交流の支援を受けられない	0.0	0.0
相手が結婚したから	5.7	5.3
その他	17.1	9.3
未回答・無効回答	11.4	45.0
総数	100.0	100.0

※ ひとり親家庭になった理由で「離婚」と回答し、かつ面会交流の取り決め状況で「取り決めをしている」と回答し、かつ面会交流の実施状況で「過去に面会交流を行ったが、現在は行っていない」又は「面会交流を行ったことがない」と回答した親の回答割合。

17. 今後の再婚について

今後の再婚については、「わからない」が母子家庭の母が43.9%、父子家庭の父が45.0%と、ともに最も多いが、母子家庭の母は「再婚したい」よりも「再婚するつもりはない」が多くなっており、前回調査よりも「再婚したい」の割合が0.8ポイント減少している。

一方、父子家庭の父は「再婚するつもりはない」よりも「再婚したい」が多くなっているが、前回調査よりも「再婚したい」の割合が2.6ポイント減少している。

表17 今後の「再婚」について

内容	山形県 (R01)		山形県 (H26)	
	母子家庭	父子家庭	母子家庭	父子家庭
再婚したい	16.2	30.2	17.0	32.8
再婚するつもりはない	37.7	22.5	36.3	18.9
わからない	43.9	45.0	41.1	40.3
未回答・無効回答	2.2	2.4	5.6	8.0
総数	100.0	100.0	100.0	100.0

子どもについて

18. ひとり親家庭の子どもについて

(1) 児童の保育状況

ひとり親家庭の親が面倒を見られない時間の養育・保育の状況については、母子家庭、父子家庭ともに「同居の家族」が最も多くなっている。次いで多かったのは、母子家庭は「保育所・幼稚園等」、父子家庭は「実家・親戚」となっている。

父子家庭における「同居の家族」の割合は、前回調査に比べて16.7ポイントと大きく減少しており、その結果「実家・親戚」、「保育所・幼稚園等」、「放課後児童クラブ」の割合が増加している。

急用の時の子どもの預け先については、母子家庭は約1/3、父子家庭は約1/2が「ない」と回答している。

表18-(1)-1 ひとり親家庭の親が面倒を見られない時間の養育・保育の状況

【母子家庭】

状況	山形県	
	R01	H26
同居の家族	27.9	28.0
実家・親戚	19.6	16.8
保育所・幼稚園等	24.6	33.6
放課後児童クラブ	19.1	12.1
友人・知人	0.6	0.9
誰もいない	7.3	7.1
その他	0.9	1.4
総数	100.0	100.0

【父子家庭】

状況	山形県	
	R01	H26
同居の家族	39.6	56.3
実家・親戚	20.8	14.9
保育所・幼稚園等	18.8	14.9
放課後児童クラブ	10.4	6.9
友人・知人	0.0	1.1
誰もいない	6.3	5.7
その他	4.2	0.0
総数	100.0	100.0

表18-(1)-2 一時的な急用の時の子どもの預け先

【母子家庭】

状況	山形県	
	R01	H26
急用等の際の預け先がある	59.8	63.5
急用等の際の預け先がない	32.8	32.5
未回答・無効回答	7.3	4.0
総数	100.0	100.0

【父子家庭】

状況	山形県	
	R01	H26
急用等の際の預け先がある	41.7	50.6
急用等の際の預け先がない	45.8	31.0
未回答・無効回答	12.5	18.4
総数	100.0	100.0

※ 面倒を見られない時間の養育・保育の状況で有効回答のあった親の回答割合。

(2) 子どもに関する最終進学目標

子どもに関する最終進学目標は、母子家庭・父子家庭ともに「大学・大学院」が最も多くなっている。

なお、親の最終学歴は、母子家庭の母、父子家庭の父ともに「高校」が最も多くなっている。

表18-(2)-1 子どもの最終進学目標

進学目標	山形県		全国	
	(R01)	(H26)	(H28)	(H23)
中学校	0.3	0.0	0.6	0.6
高校	29.1	29.0	28.0	30.4
高等専門学校	6.2	4.3	4.9	5.6
短大	3.7	4.2	4.7	5.4
大学・大学院	43.6	45.4	46.1	38.5
専修学校・各種学校	13.6	13.5	12.0	13.8
その他	3.7	3.6	3.7	5.8
総数	100.0	100.0	100.0	100.0

【父子家庭】

進学目標	山形県		全国	
	(R01)	(H26)	(H28)	(H23)
中学校	1.4	0.0	1.3	0.2
高校	33.6	42.7	31.3	37.6
高等専門学校	6.8	6.9	6.1	6.1
短大	2.1	3.2	2.7	4.0
大学・大学院	43.2	36.2	41.4	35.5
専修学校・各種学校	10.3	6.9	11.1	9.1
その他	2.7	4.1	6.1	7.6
総数	100.0	100.0	100.0	100.0

表18-(2)-2 ひとり親世帯の親の最終学歴

最終学歴	山形県		全国	
	(R01)	(H26)	(H28)	(H23)
中学校	3.9	5.0	11.5	13.3
高校	52.7	55.6	44.8	48.0
高等専門学校	4.5	5.4	4.9	4.2
短大	11.3	10.7	14.2	12.1
大学・大学院	8.3	6.0	9.1	6.9
専修学校・各種学校	18.6	16.7	14.7	14.0
その他	0.7	0.5	0.7	1.5
総数	100.0	100.0	100.0	100.0

【父子家庭】

最終学歴	山形県		全国	
	(R01)	(H26)	(H28)	(H23)
中学校	11.0	12.0	13.2	15.4
高校	62.2	61.5	48.8	51.6
高等専門学校	4.3	6.0	3.6	4.6
短大	2.4	3.0	1.8	2.0
大学・大学院	11.6	7.3	19.4	15.6
専修学校・各種学校	7.9	9.8	12.1	9.5
その他	0.6	0.4	1.0	1.3
総数	100.0	100.0	100.0	100.0

表18-(2)-3 子どもに関する最終進学目標（親の最終学歴別）

【母子家庭】

子どもの進学 親の学歴	山形県 (R01)								山形県 (H26)							
	中学校	高校	高等 専門 学校	短大	大学・ 大学院	専修 学校・ 各種 学校	その 他	総数	中学校	高校	高等 専門 学校	短大	大学・ 大学院	専修 学校・ 各種 学校	その 他	総数
中学校	0.0	48.1	3.7	0.0	33.3	11.1	3.7	100.0	0.0	72.1	4.7	2.3	14.0	4.7	2.3	100.0
高校	0.5	38.1	5.5	4.5	35.6	12.8	3.0	100.0	0.0	37.0	3.9	4.3	37.9	13.6	3.2	100.0
高等専門学校	0.0	21.6	24.3	5.4	37.8	8.1	2.7	100.0	0.0	9.3	27.9	7.0	46.5	9.3	0.0	100.0
短大	0.0	14.1	8.2	2.4	57.6	12.9	4.7	100.0	0.0	11.6	2.3	7.0	65.1	9.3	4.7	100.0
大学・ 大学院	0.0	10.4	4.5	0.0	74.6	6.0	4.5	100.0	0.0	7.3	1.8	1.8	83.6	5.5	0.0	100.0
専修学校・ 各種学校	0.0	20.6	2.9	3.7	46.3	22.1	4.4	100.0	0.0	12.9	0.7	2.2	54.0	23.7	6.5	100.0
その他	0.0	20.0	20.0	0.0	20.0	20.0	20.0	100.0	0.0	75.0	0.0	25.0	0.0	0.0	0.0	100.0
総数	0.3	29.2	6.2	3.6	43.4	13.6	3.7	100.0	0.0	29.0	4.3	4.2	45.4	13.6	3.5	100.0

子どもの進学 親の学歴	全国 (H28)								全国 (H23)							
	中学校	高校	高等 専門 学校	短大	大学・ 大学院	専修 学校・ 各種 学校	その 他	総数	中学校	高校	高等 専門 学校	短大	大学・ 大学院	専修 学校・ 各種 学校	その 他	総数
中学校	4.4	55.9	4.0	2.2	18.5	10.6	4.4	100.0	2.4	46.3	7.8	3.9	20.0	11.7	7.8	100.0
高校	0.1	36.1	6.3	6.0	36.3	11.3	4.0	100.0	0.3	39.3	6.1	5.7	30.4	13.2	5.1	100.0
高等専門学校	1.0	10.3	14.4	3.1	56.7	6.2	8.2	100.0	0.0	22.1	19.1	13.2	27.9	14.7	2.9	100.0
短大	0.0	14.0	2.5	7.2	63.8	10.8	1.7	100.0	0.0	11.9	2.6	8.3	57.5	14.5	5.2	100.0
大学・ 大学院	0.0	6.1	1.1	3.3	82.8	5.0	1.8	100.0	0.0	2.7	1.8	0.0	87.3	5.5	2.7	100.0
専修学校・ 各種学校	0.0	15.2	2.4	1.7	54.1	22.4	4.1	100.0	0.9	17.3	2.8	3.7	45.3	22.4	7.5	100.0
その他	0.0	33.3	0.0	0.0	46.7	13.3	6.7	100.0	0.0	20.0	4.0	4.0	48.0	8.0	16.0	100.0
総数	0.6	28.2	4.8	4.7	46.1	11.9	3.8	100.0	0.6	30.3	5.7	5.4	38.5	13.8	5.7	100.0

【父子家庭】

子どもの 進学 親の学歴	山形県 (R01)								山形県 (H26)							
	中学校	高校	高等 専門 学校	短大	大学・ 大学 院	専修 学校・ 各種 学校	その 他	総数	中学校	高校	高等 専門 学校	短大	大学・ 大学 院	専修 学校・ 各種 学校	その 他	総数
中学校	0.0	43.8	12.5	0.0	31.3	6.3	6.3	100.0	0.0	65.4	7.7	0.0	15.4	0.0	11.5	100.0
高校	1.1	34.8	7.9	2.2	41.6	10.1	2.2	100.0	0.0	47.1	6.6	2.9	32.4	7.4	3.7	100.0
高等専門学校	0.0	33.3	0.0	0.0	33.3	16.7	16.7	100.0	0.0	21.4	21.4	0.0	50.0	7.1	0.0	100.0
短大	0.0	0.0	0.0	25.0	75.0	0.0	0.0	100.0	0.0	16.7	0.0	33.3	50.0	0.0	0.0	100.0
大学・大学院	0.0	27.8	0.0	0.0	61.1	11.1	0.0	100.0	0.0	6.7	6.7	0.0	86.7	0.0	0.0	100.0
専修学校・ 各種学校	0.0	27.3	9.1	0.0	45.5	18.2	0.0	100.0	0.0	35.0	0.0	5.0	40.0	20.0	0.0	100.0
その他	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	100.0
総数	0.7	33.8	6.9	2.1	43.4	10.3	2.8	100.0	0.0	42.7	6.9	3.2	36.2	6.9	4.1	100.0

子どもの 進学 親の学歴	全国 (H28)								全国 (H23)							
	中学校	高校	高等 専門 学校	短大	大学・ 大学 院	専修 学校・ 各種 学校	その 他	総数	中学校	高校	高等 専門 学校	短大	大学・ 大学 院	専修 学校・ 各種 学校	その 他	総数
中学校	4.0	46.0	10.0	0.0	24.0	8.0	8.0	100.0	0.0	59.0	6.4	1.3	17.9	7.7	7.7	100.0
高校	1.1	36.2	7.6	3.2	31.4	11.9	8.6	100.0	0.0	43.8	7.3	4.0	29.6	8.4	6.9	100.0
高等専門学校	0.0	38.5	15.4	0.0	30.8	7.7	7.7	100.0	0.0	32.0	16.0	8.0	28.0	8.0	8.0	100.0
短大	0.0	28.6	0.0	0.0	42.9	28.6	0.0	100.0	9.1	18.2	9.1	9.1	45.5	0.0	9.1	100.0
大学・大学院	0.0	8.2	0.0	4.1	83.6	2.7	1.4	100.0	0.0	8.5	2.4	2.4	75.6	3.7	7.3	100.0
専修学校・ 各種学校	2.3	25.6	4.7	0.0	41.9	23.3	2.3	100.0	0.0	24.0	0.0	6.0	32.0	28.0	10.0	100.0
その他	0.0	50.0	0.0	25.0	0.0	25.0	0.0	100.0	0.0	25.0	0.0	0.0	50.0	0.0	25.0	100.0
総数	1.3	30.9	6.1	2.7	41.6	11.2	6.1	100.0	0.2	37.4	6.1	3.8	35.7	9.2	7.6	100.0

(3) 学習塾の利用状況（小中学生のみ）

学習塾の利用状況は、母子家庭・父子家庭ともに「通わせたいが通わせていない」が最も多く、その理由としては「塾代が高い」が最も多く、前回調査と同様の結果となっている。

また、通わせるつもりのない理由では、母子家庭は「通わせる家計の余裕がない」が最も多く、父子家庭は「学校の勉強で十分だと思うから」が最も多くなっている。

表18－(3)－1 小中学生の子どもの学習塾利用状況

状況	山形県 (R01)		山形県 (H26)	
	母子家庭	父子家庭	母子家庭	父子家庭
通わせている	21.1	23.3	16.2	16.4
通わせたいが通わせていない	52.9	49.5	57.5	44.2
通わせるつもりはない	26.0	27.2	26.3	39.4
総数	100.0	100.0	100.0	100.0

表18－(3)－2 通わせていない理由

理由	山形県 (R01)		山形県 (H26)	
	母子家庭	父子家庭	母子家庭	父子家庭
塾代が高い	74.7	56.9	78.8	65.8
近くに塾がない	5.1	13.7	3.5	16.4
その他	13.3	21.6	13.3	13.7
未回答・無効回答	6.8	7.8	4.3	4.1
総数	100.0	100.0	100.0	100.0

※ 複数回答。

※ 学習塾利用状況で「通わせたいが通わせていない」と回答した親の回答割合。

表18－(3)－3 通わせるつもりのない理由

理由	山形県 (R01)		山形県 (H26)	
	母子家庭	父子家庭	母子家庭	父子家庭
通わせる家計の余裕がない	36.1	25.0	51.3	43.1
塾の勉強についていけないと思うから	4.2	3.6	4.4	4.6
生活習慣が乱れるから	0.0	0.0	2.5	1.5
学校の勉強で十分だと思うから	20.8	32.1	21.5	35.4
特にない	3.5	10.7	4.4	7.7
その他	16.7	14.3	13.9	4.6
未回答・無効回答	18.8	14.3	1.9	3.1
総数	100.0	100.0	100.0	100.0

※ 複数回答。

※ 学習塾利用状況で「通わせるつもりはない」と回答した親の回答割合。

(4) 子どもの学習支援の利用希望について

「利用したいと思う」が母子家庭は60.5%、父子家庭は56.8%と、ともに最も多くなっている。

前回調査と比較すると、「利用したいと思う」の割合は、母子家庭では2.3ポイント減少し、父子家庭では9.3ポイント増加している。

表18- (4) 子どもの学習支援を利用したいか

利用希望	山形県 (R01)		山形県 (H26)	
	母子家庭	父子家庭	母子家庭	父子家庭
思う	60.5	56.8	62.8	47.5
思わない	5.7	7.1	3.9	7.6
わからない	25.9	24.9	22.7	31.9
未回答・無効回答	7.9	11.2	10.6	13.0
総数	100.0	100.0	100.0	100.0

公的制度等について

19. 公的制度等の利用状況

(1) 公的制度等の利用状況

公的制度について、「知っている」、「利用したことがある」と回答があったものうち、母子家庭・父子家庭ともに「児童扶養手当」が最も多く、次いで「ひとり親家庭等医療給付制度」となっている。

また、前回調査と比較すると、母子家庭・父子家庭ともすべての制度で「知っている」の割合が大きく増加している。一方で、「利用したことがある」の割合は「県又は市町村の福祉関係窓口または相談員への相談事業」は前回調査より増加しているが、それ以外の割合は減少している。

表19－(1) 福祉関係の公的制度等の利用状況

【母子家庭】

公的制度	山形県 (R01)		山形県 (H26)	
	知っている	利用したことがある	知っている	利用したことがある
県又は市町村の福祉関係窓口 または相談員への相談事業	64.5	26.2	54.8	23.9
保育所への優先入所	45.5	27.3	37.2	38.1
ひとり親家庭子育て生活支援事業	43.4	6.3	35.1	9.0
自立支援教育訓練給付金	56.5	8.9	43.5	9.5
ひとり親家庭等医療給付制度	86.9	56.0	77.6	73.3
母子・父子・寡婦福祉資金 (H26は、母子・寡婦福祉資金)	59.9	9.0	51.0	13.3
児童扶養手当	94.4	58.0	86.4	80.4
母子福祉センター及び母子家庭等 就業・自立支援センター	53.2	9.9	35.6	15.7
母子生活支援施設	26.0	3.5	20.1	8.4

【父子家庭】

公的制度	山形県 (R01)		山形県 (H26)	
	知っている	利用した ことがある	知っている	利用した ことがある
県又は市町村の福祉関係窓口 または相談員への相談事業	60.4	23.5	44.5	20.8
保育所への優先入所	33.1	16.1	20.2	29.2
ひとり親家庭子育て生活支援事業	36.1	14.8	21.4	15.7
自立支援教育訓練給付金	39.1	0.0	16.0	13.2
ひとり親家庭等医療給付制度	67.5	50.0	56.7	64.4
母子・父子・寡婦福祉資金 (H26：母子・寡婦福祉資金)	39.6	13.4	19.3	0.0
児童扶養手当	85.8	55.2	69.7	74.7
母子福祉センター及び母子家庭等 就業・自立支援センター	30.2	7.8	12.6	20.0
母子生活支援施設	11.8	10.0	7.6	22.2

※ 複数回答。

※ 各公的制度の「知っている」の割合は、全体の回答者数のうち「知っている」と回答した親の割合。

※ 各公的制度の「利用したことがある」の割合は、公的制度を「知っている」と回答した親のうち、「利用したことがある」と回答した親の割合。

(2) 公的制度等をいままで利用しなかった理由

公的制度等をいままで利用しなかった理由は、母子家庭・父子家庭ともに、ほとんどの項目で「制度を知らなかった」が最も多く、次いで「利用する必要がなかった」となっている。

表19-(2) 公的制度等をいままで利用しなかった理由

【母子家庭】

公的制度	山形県 (R01)				
	制度を知らなかった	利用する必要がない	手続きが面倒	その他	総数
県又は市町村の福祉関係窓口または相談員への相談事業	43.8	36.8	7.3	12.2	100.0
保育所への優先入所	60.4	30.5	0.4	8.7	100.0
ひとり親家庭子育て生活支援事業	58.2	32.5	4.2	5.1	100.0
自立支援教育訓練給付金	51.0	33.9	5.5	9.6	100.0
ひとり親家庭等医療給付制度	52.5	15.8	2.5	29.2	100.0
母子・父子・寡婦福祉資金	60.2	19.2	7.3	13.3	100.0
児童扶養手当	38.9	20.4	5.6	35.2	100.0
母子福祉センター及び母子家庭等就業・自立支援センター	58.1	33.7	1.2	7.0	100.0
母子生活支援施設	76.0	19.5	0.5	4.1	100.0

【父子家庭】

公的制度	山形県 (R01)				
	制度を知らなかった	利用する必要がない	手続きが面倒	その他	総数
県又は市町村の福祉関係窓口または相談員への相談事業	46.6	38.4	9.6	5.5	100.0
保育所への優先入所	53.4	42.7	1.9	1.9	100.0
ひとり親家庭子育て生活支援事業	61.8	31.8	6.4	0.0	100.0
自立支援教育訓練給付金	65.0	27.2	4.9	2.9	100.0
ひとり親家庭等医療給付制度	64.7	23.5	5.9	5.9	100.0
母子・父子・寡婦福祉資金	71.6	17.6	6.9	3.9	100.0
児童扶養手当	50.0	25.0	12.5	12.5	100.0
母子福祉センター及び母子家庭等就業・自立支援センター	60.2	30.1	1.8	8.0	100.0
母子生活支援施設	66.4	22.9	2.3	8.4	100.0

※ 複数回答。

※ 各公的制度の利用状況で「利用したことがある」を選択しなかった親の回答割合。

(3) 母子寡婦福祉連合会・地域の母子会への入会状況

入会の有無については、「会について知らなかった」が母子家庭は48.3%、父子家庭は41.4%と、ともに最も多く、次いで「入会していない」となっている。「入会している」のは母子家庭の5.0%、父子家庭の1.8%となっている。

前回調査と比較すると、「会について知らなかった」の割合は母子家庭・父子家庭ともに減少し、「入会している」の割合は増加している。

入会したくない理由は、母子家庭・父子家庭ともに「関心がない」が最も多くなっている。

表19-(3)-1 入会の有無

状況	山形県 (R01)		山形県 (H26)	
	母子家庭	父子家庭	母子家庭	父子家庭
入会している	5.0	1.8	3.9	0.0
入会していない	44.1	37.3	36.3	26.5
会について知らなかった	48.3	41.4	58.0	46.2
未回答・無効回答	2.6	19.5	1.8	27.3
総数	100.0	100.0	100.0	100.0

表19-(3)-2 入会希望の有無

入会希望	山形県 (R01)		山形県 (H26)	
	母子家庭	父子家庭	母子家庭	父子家庭
入会したい	3.8	0.8	4.8	1.2
入会したくない	26.6	17.3	35.4	28.3
わからない	66.3	72.9	55.0	56.6
未回答・無効回答	3.3	9.0	4.8	13.9
総数	100.0	100.0	100.0	100.0

※ 入会の有無にて「入会していない」「会について知らなかった」と回答した親の回答割合。

表19-(3)-3 入会したくない理由

理由	山形県 (R01)		山形県 (H26)	
	母子家庭	父子家庭	母子家庭	父子家庭
仕事が忙しい	13.5	13.0	29.4	32.7
活動内容が不明	9.8	13.0	22.5	6.1
関心がない	22.8	26.1	16.1	26.5
メリットがない	2.3	4.3	2.5	4.1
雰囲気閉鎖的	0.5	0.0	0.0	0.0
考え方が合わない	0.9	0.0	0.6	4.1
同世代の人がいない	0.0	0.0	0.0	0.0
役員を引き受けたくない	0.5	0.0	0.6	0.0
その他	4.2	17.4	4.4	10.2
未回答・無効回答	45.6	26.1	23.7	16.3
総数	100.0	100.0	100.0	100.0

※ 複数回答。

※ 入会の有無で「入会していない」「会について知らなかった」と回答し、かつ入会希望の有無にて「入会したくない」と回答した親の回答割合。

悩み・相談について（現在）

20. ひとり親家庭の悩み等

(1) 現在ひとり親家庭の親が困っていること

母子家庭・父子家庭ともに「生活費」が最も多く、次いで「子育てについて」、「自分の健康」の順となっている。

表20－(1) 現在ひとり親家庭の親が困っていることの内容

【母子家庭】

内容	山形県			全国		
	R01	H26	H21	H28	H23	H18
仕事	10.2	11.2	12.2	13.6	19.1	18.1
自分の健康	10.8	9.1	8.1	13.0	9.5	10.6
家族の健康	4.3	5.7	5.7	6.7	5.1	5.0
住宅	5.5	5.2	4.3	9.5	13.4	12.8
生活費	23.1	23.4	25.4	50.4	45.8	46.3
借金・ローン等の返済	7.6	5.8	7.9			
家事	2.3	1.3	1.2	2.3	1.5	1.9
相談相手や支えてくれる人がいない	1.5	2.2	1.9			
元の配偶者とのトラブル	1.4	1.2	1.7			
実家・家族との関係	2.6	2.6	2.9			
職場での人間関係	2.4	1.7	1.8			
近所との関係	0.4	0.7	0.5			
ひとり親世帯への偏見	2.1	2.5	2.2			
ひとり親の交流の場がない	0.9	1.3	1.0			
子どもの預け先	1.6	1.5	1.6			
再婚について	1.9	2.1	2.3			
子育てについて	13.0	16.0	14.8			
その他	1.5	1.3	1.5	4.5	5.7	5.3
特になし	4.1	2.6	1.2			
未回答・無効回答	2.8	2.7	1.8			
総数	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0

【父子家庭】

内容	山形県			全国		
	R01	H26	H21	H28	H23	H18
仕事	9.8	11.5	10.4	15.4	17.4	12.6
自分の健康	10.0	8.0	5.5	10.1	9.9	5.9
家族の健康	7.9	7.1	8.3	11.6	8.8	—
住宅	1.9	2.6	1.9	4.5	7.8	7.4
生活費	18.7	20.8	20.7	38.2	36.5	40.0
借金・ローン等の返済	10.0	10.8	10.5			
家事	3.8	4.0	5.3	16.1	12.1	27.4
相談相手や支えてくれる人がいない	2.4	1.5	2.4			
元の配偶者とのトラブル	0.8	1.1	0.6			
実家・家族との関係	1.1	1.6	1.0			
職場での人間関係	1.4	1.3	1.1			
近所との関係	0.3	0.2	0.4			
ひとり親世帯への偏見	1.1	1.8	1.5			
ひとり親の交流の場がない	1.9	1.1	2.0			
子どもの預け先	1.1	0.9	0.6			
再婚について	6.0	5.5	7.7			
子育てについて	12.5	14.1	14.9			
その他	0.3	0.7	1.2	4.1	7.5	6.7
特になし	4.6	2.9	1.9			
未回答・無効回答	4.6	2.6	2.1			
総数	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0

※ 複数回答。

※ 「全国」は、「子どもについての悩み」以外の「ひとり親本人が困っていること」として質問し、集計したため、参考数値。

(2) 相談相手について

「相談相手あり」（「欲しい」、「必要なし」を除く）は、母子家庭は86.2%、父子家庭は77.5%となっている。

その具体的な相談相手は、母子家庭・父子家庭ともに「親族」が最も多く、次いで「友人・知人」となっている。

表20-(2) ひとり親家庭の親の相談相手

【母子家庭】

相談相手	山形県		全国	
	(R01)	(H26)	(H28)	(H23)
親族	45.6	67.8	49.3	40.7
友人・知人	33.2	20.6	26.6	34.2
母子・父子自立支援員等	0.0	0.1	0.3	0.9
母子・父子福祉団体	0.5	0.5	0.0	0.2
福祉事務所	0.2	0.2		
保健師	0.5	0.0	1.2	1.9
学校・保育所	1.6	0.4		
民生委員・児童委員	0.2	0.1		
NPO法人	0.0	0.0	0.1	0.1
その他	4.4	2.8	2.2	2.4
欲しい	10.7	6.0	12.2	12.1
必要なし	3.0	1.6	8.1	7.5
総数	100.0	100.0	100.0	100.0

【父子家庭】

相談相手	山形県		全国	
	(R01)	(H26)	(H28)	(H23)
親族	52.0	65.3	35.6	32.8
友人・知人	18.4	18.8	17.4	19.9
母子・父子自立支援員等	0.0	0.0	0.3	0.0
母子・父子福祉団体	0.0	0.0	0.0	0.0
福祉事務所	2.0	0.9		
保健師	0.0	0.0	0.5	2.0
学校・保育所	1.0	2.8		
民生委員・児童委員	1.0	0.5		
NPO法人	0.0	0.0	0.0	0.0
その他	3.1	0.9	1.3	1.6
欲しい	15.3	8.0	24.3	22.0
必要なし	7.1	2.8	20.6	21.7
総数	100.0	100.0	100.0	100.0

※ 複数回答。

(3) 子どもについての悩み

「(1) 現在ひとり親家庭の親が困っていること」で「子育てについて」と回答した人にその内訳を聞いたところ、母子家庭・父子家庭ともに「進学」が最も多く、次いで「教育」、「しつけ」の順となっており、前回調査と同様の結果となっている。

加えて、母子家庭では「子どもとの関わり」、父子家庭では「健康」に関する悩みも多くなっている。

表20-(3) 困っていることのうち子育てについての悩みの内訳
【母子家庭】

内容	山形県		全国	
	R01	H26	H28	H23
しつけ	12.0	14.3	13.1	15.6
教育	20.2	19.7	58.7	56.1
進学	31.6	27.1		
就職	2.7	5.8	6.0	7.2
非行	1.1	1.1	3.0	3.6
友人関係	3.4	3.8		
健康	6.3	3.4	5.9	5.3
発達	5.9	3.8		
食事・栄養	4.0	4.1	2.6	2.6
衣服、身の回り	1.7	1.4	0.8	0.8
結婚問題			0.4	0.1
子どもとの関わり	8.2	11.5		
学校・保育所等との関係	2.3	1.1		
その他	0.4	1.6	9.5	8.7
未回答・無効回答	0.4	1.0		
総数	100.0	100.0	100.0	100.0

【父子家庭】

内容	山形県		全国	
	R01	H26	H28	H23
しつけ	11.6	13.5	13.6	16.5
教育	20.5	16.4	46.3	51.8
進学	24.1	23.4		
就職	1.8	4.1	7.0	9.3
非行	0.0	0.6	1.8	2.9
友人関係	5.4	4.1		
健康	9.8	4.1	6.6	6.0
発達	5.4	5.3		
食事・栄養	6.3	11.7	7.0	6.7
衣服、身の回り	2.7	4.1	4.8	3.1
結婚問題			2.2	0.0
子どもとの関わり	8.9	8.8		
学校・保育所等との関係	2.7	2.3		
その他	0.9	0.0	10.6	3.8
未回答・無効回答	0.0	1.8		
総数	100.0	100.0	100.0	100.0

※ 複数回答。

※ あなたが困っていることで「子育てについて」と回答した親の回答割合。

※ 「全国」は、「子どもについての悩み」単独で、質問し、集計したため、参考数値。

2.1. ひとり親家庭への支援として望むこと

(1) 今後充実して欲しい施策

母子家庭・父子家庭ともに「児童扶養手当の増額」が最も多く、次いで、「子どもの学習支援の充実」、「ひとり親家庭の医療費助成の所得制限の緩和」の順となっている。

表2.1- (1) ひとり親家庭への支援として望むこと

【母子家庭】

内容	山形県	
	R01	H26
認可保育所への優先入所	1.7	2.6
みなし寡婦控除の適用拡大	3.5	2.5
学童保育等の充実	4.1	5.0
相談窓口への充実	2.5	2.0
児童扶養手当の増額	28.1	27.7
公的貸付金制度の充実	7.1	7.2
公営住宅への優先入居	4.2	5.8
ひとり親世帯が入居できるシェアハウス整備等住居施策	3.0	2.2
ひとり親家庭の医療費助成の所得制限の緩和	12.8	10.5
職業紹介の充実、就労機会の拡大	5.2	6.5
養育費の確保策	7.5	9.0
再婚の支援	1.9	2.1
子どもの学習支援の充実	14.5	15.7
面会交流の支援	0.4	
その他	3.5	1.3
総数	100.0	100.0

【父子家庭】

内容	山形県	
	R01	H26
認可保育所への優先入所	2.2	1.4
みなし寡婦控除の適用拡大	1.6	1.8
学童保育等の充実	3.0	3.5
相談窓口への充実	2.4	2.5
児童扶養手当の増額	30.7	28.3
公的貸付金制度の充実	10.1	9.6
公営住宅への優先入居	2.2	2.7
ひとり親世帯が入居できるシェアハウス整備等住居施策	1.6	0.6
ひとり親家庭の医療費助成の所得制限の緩和	13.0	18.3
職業紹介の充実、就労機会の拡大	2.7	4.1
養育費の確保策	9.2	9.0
再婚の支援	6.0	6.8
子どもの学習支援の充実	14.1	11.3
面会交流の支援	0.0	
その他	1.1	0.2
総数	100.0	100.0

※ 複数回答。

※ 「面会交流の支援」は、令和元年より回答項目を新規追加。

(2) ひとり親家庭が入居できるシェアハウスについて

ひとり親世帯向けのシェアハウスがあれば利用したいかについて、母子家庭は「思わない」が66.8%、「思う」が9.4%、父子家庭は「思わない」が57.7%、「思う」が6.2%となっている。前回調査と比較すると、母子家庭・父子家庭ともに「思う」が減少し、「思わない」と「わからない」が増加している。

また、利用したい理由としては「子育ての悩みを共有できる」、「安価な住居を得て独立したい」等があり、どんな条件なら利用したいかについては、「その他」を除くと母子家庭・父子家庭ともに「どんな条件でも入居は無理」が最も多くなっている。

表21-(2)-1 「ひとり親世帯が入居できるシェアハウス」があれば入居したいか

内容	山形県 (R01)		山形県 (H26)	
	母子家庭	父子家庭	母子家庭	父子家庭
思う	9.4	6.2	12.6	9.1
思わない	66.8	57.7	65.7	56.1
わからない	23.9	36.1	21.7	34.8
総数	100.0	100.0	100.0	100.0

表21-(2)-2 シェアハウスを利用したい理由

内容	山形県 (R01)		山形県 (H26)	
	母子家庭	父子家庭	母子家庭	父子家庭
安価な住居を得て独立したい、実家に迷惑をかけたくない、親との同居を解消したいなど、住居上の問題による	26.8	16.7	25.0	0.0
子育ての悩みなどを共有できる、子育てを協力できる・安心できるなど、子育て上のメリットによる	73.2	83.3	75.0	100.0
総数	100.0	100.0	100.0	100.0

※ シェアハウスがあれば利用したいかで「思う」と回答した親の回答割合。

表21-(2)-3 どんな条件なら利用したいか

内容	山形県 (R01)		山形県 (H26)	
	母子家庭	父子家庭	母子家庭	父子家庭
どんな条件でもシェアハウス入居は無理	19.3	21.4	39.1	31.7
台所・トイレ・バス等すべて別であること	16.4	10.7	16.7	17.0
プライバシーが守られること	13.5	8.9	9.4	12.2
持ち家があるなどの理由から、利用する必要がない	6.0	19.6	6.0	9.8
ひとり親世帯が入居できるアパート等を希望	5.4	1.8	1.0	0.0
人間関係のトラブルがなければ	5.2	5.4	3.3	0.0
家賃が安い、子供を預けられる場所があるなど他と比べて良いなら	5.0	1.8	3.3	4.9
普通のアパートタイプ、共有はあっても交流スペース程度	4.6	0.0	6.7	2.4
シェアする人を選べる	3.1	0.0	0.7	0.0
その他	21.7	30.4	13.7	22.0
総数	100.0	100.0	100.0	100.0

※ シェアハウスがあれば利用したいかで「思わない」「わからない」と回答した親の回答割合。

※ 回答数の多い順で上位9つまでの内容を表示、10位以下は「その他」として集計。